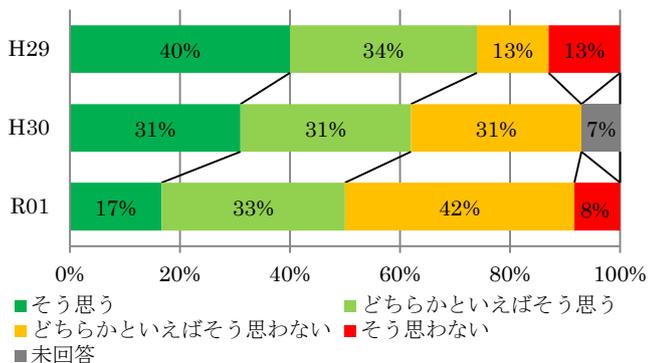
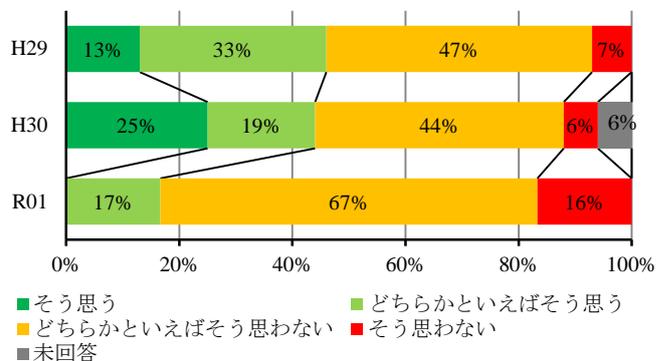


b. 自分自身で能力開発の必要性を感じて参加した



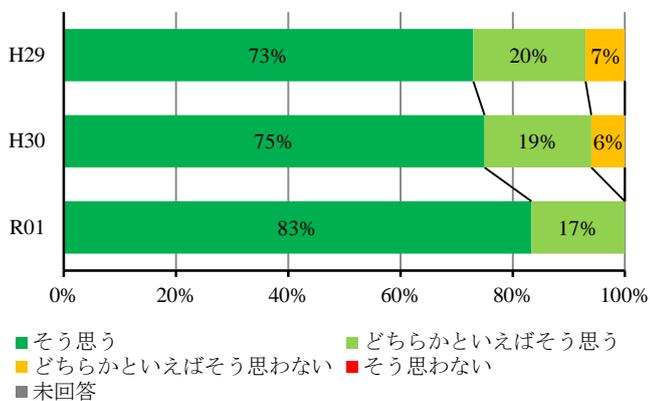
c. ワークショップの内容をすぐに活用しなければならぬ状況で参加した



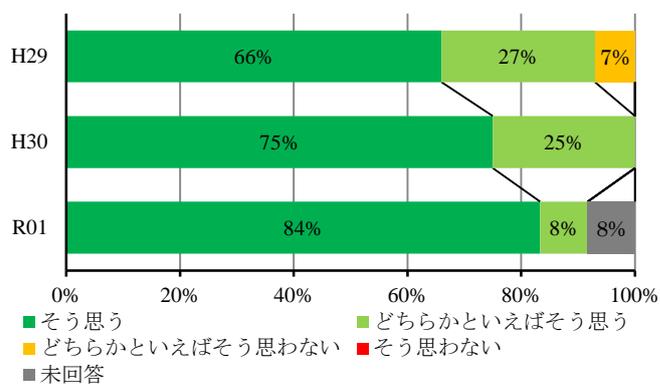
(2) プログラムについて

「a. 授業設計ワークショップの目的は明確に設定されていた」「b. 授業設計ワークショップは自分の業務に生かせる内容だった」について、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した参加者が90%以上に達していることから、授業設計ワークショップは、今後の授業に生かせる有益な内容であったことが窺える。

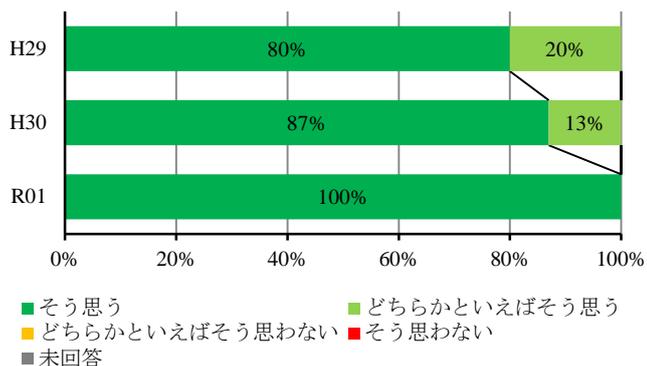
a. 授業設計ワークショップの目的は明確に設定されていた



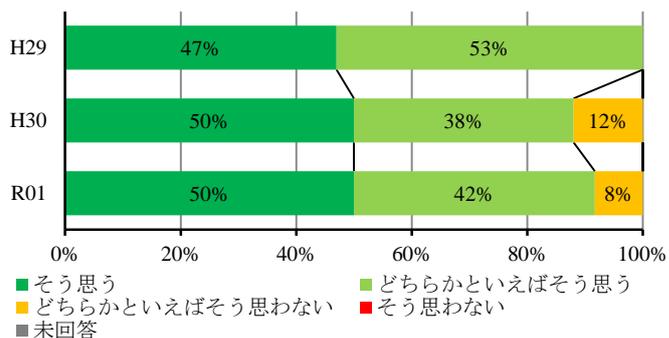
b. 授業設計ワークショップは自分の業務に生かせる内容だった



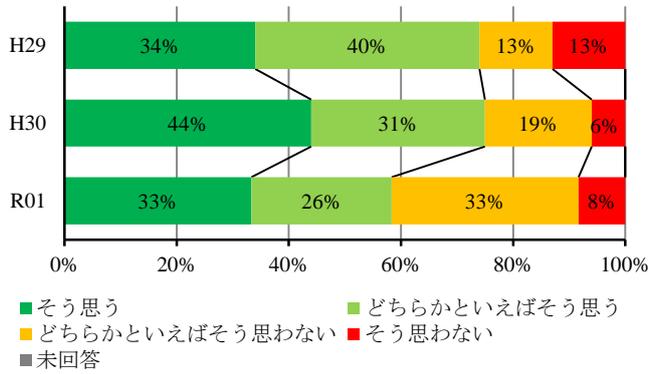
c. ワークショップはわかりやすい順序ですめられた



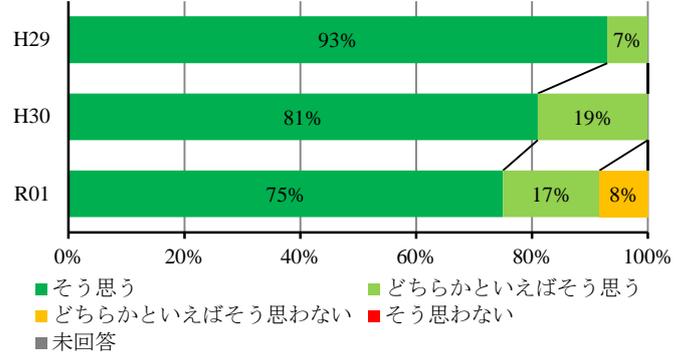
d. ワークショップの時間は目的を達成するために丁度よい長さだった



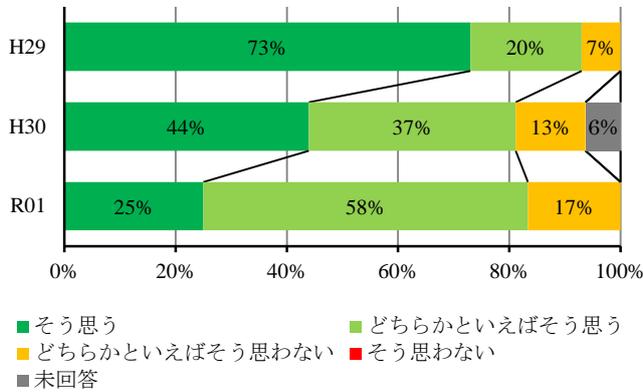
e. ワークショップの実施時期は適当だった



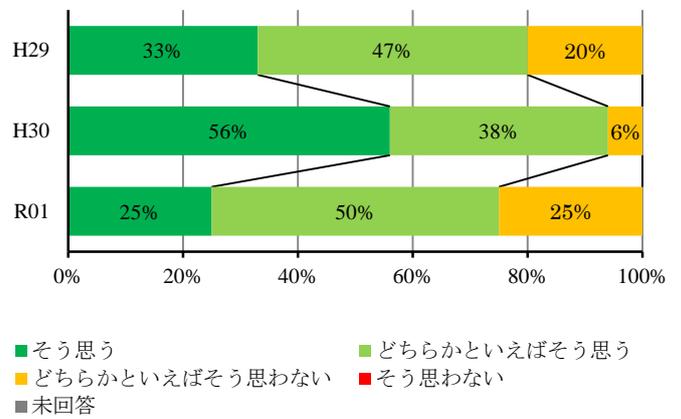
f. 参加者の人数は適当だった



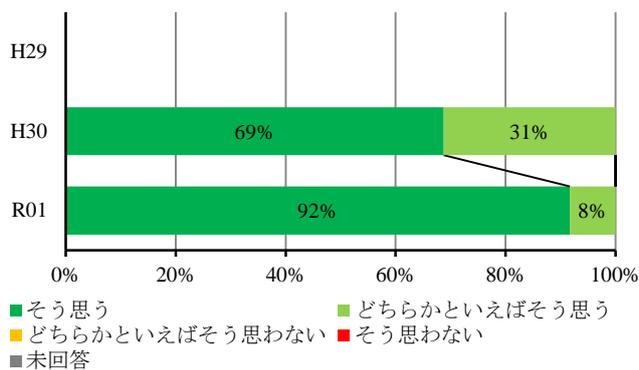
g. 反転授業用の講義ビデオの内容は適当だった



h. 反転授業用の講義ビデオ教材の時間（長さ）は適当だった



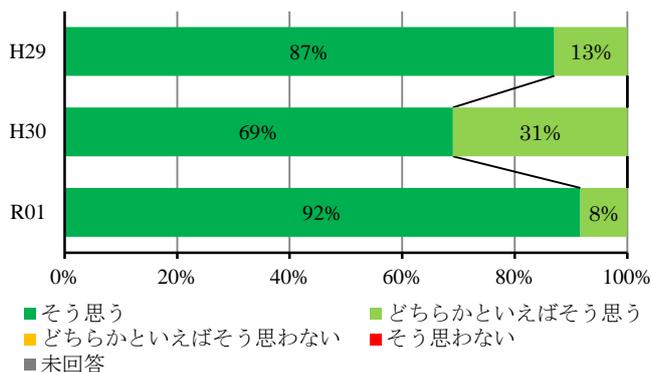
i. 事前課題は授業設計ワークショップの中で役立った



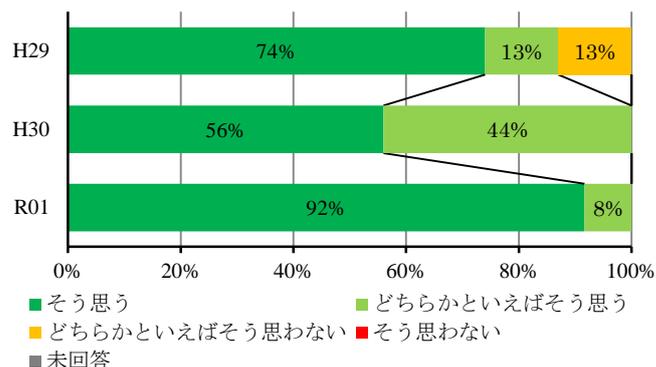
### (3) 講師について

今年度は、全ての項目で、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した参加者が100%に達していることから、参加者にとって、講師の言動は、学習意欲を高めるのに有益であったことが窺える。

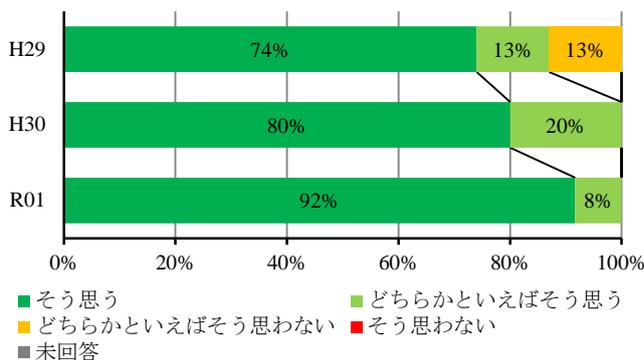
a. 講師の言動は学習意欲を高めた



b. 講師はワークショップに必要な知識を十分に持っていた



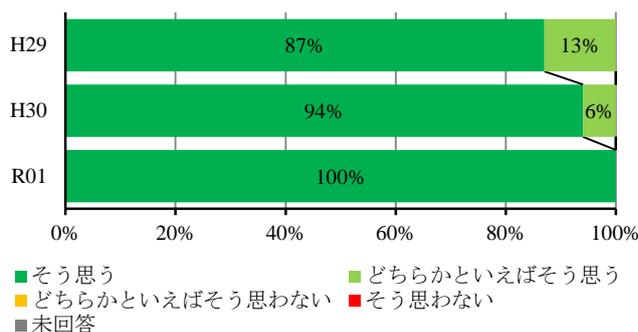
c. 講師の用意した教材はわかりやすかった



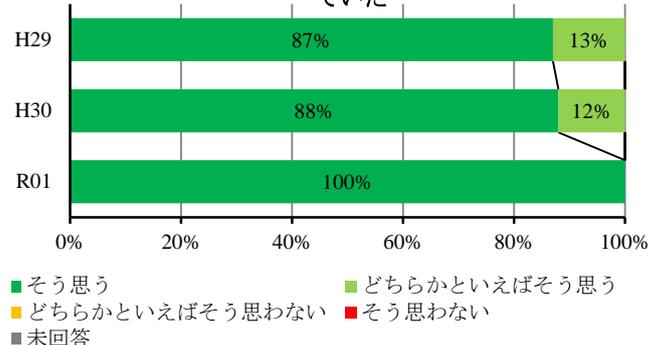
### (4) 会場・スタッフについて

今年度も、全ての項目で、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した参加者が100%に達していることから、参加者にとって、会場は快適な環境であったことが推察できる。

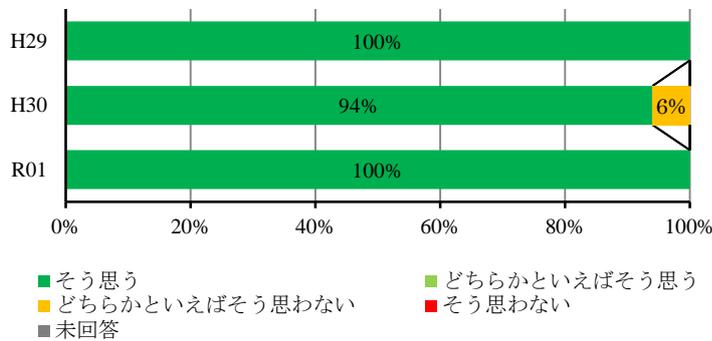
a. ワークショップ会場は快適な環境だった



b. ワークショップ会場には十分な設備が整っていた



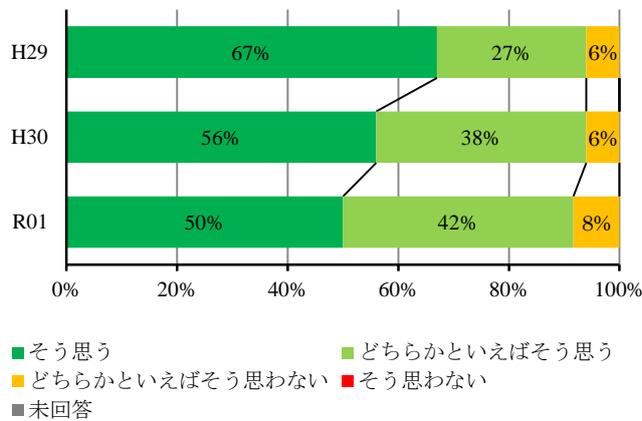
c. スタッフは手際よく研修を運営していた



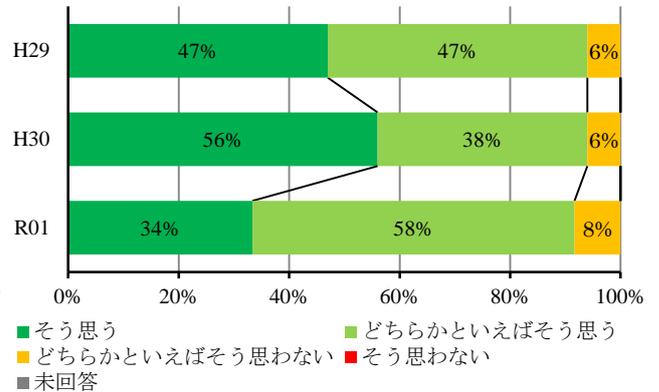
(6) プログラムの成果について

「a. 反転授業を実施する際の留意点に気付くことができた」で、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した参加者が、90%以上であることから、参加者自身が反転授業を体験することで反転授業の特徴（メリット・デメリット）が理解できたことが窺える。

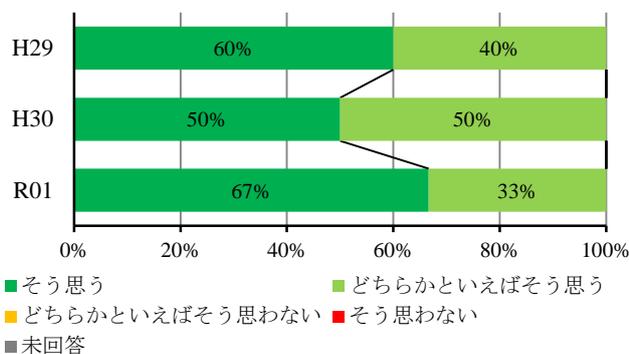
a. 反転授業形式を体験することで、反転授業を実施する際の留意点に気付くことができた



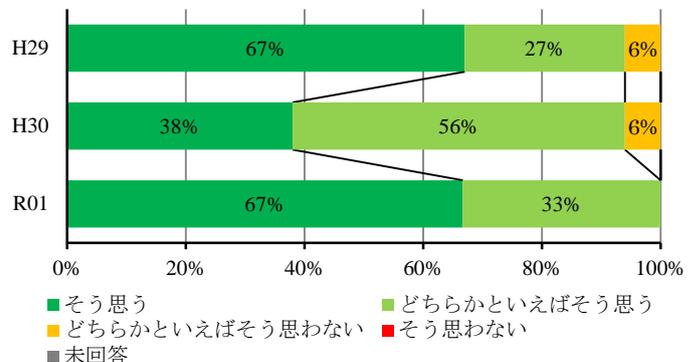
b. 自分に必要な知識やスキルを身につけることができた



c. 受講したことによって教育への取り組み方が改善されると思う



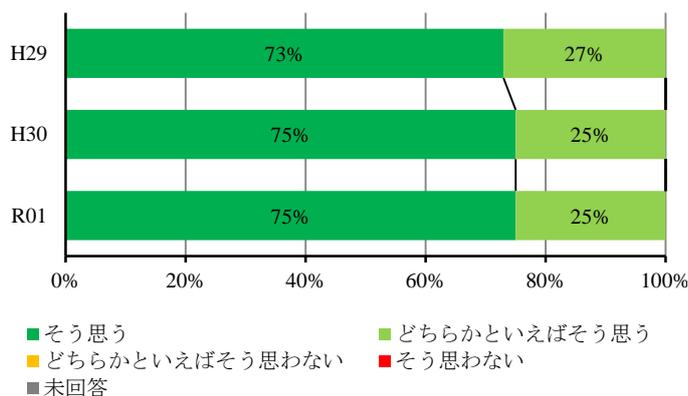
d. 新たに人的なつながりをつくることができた



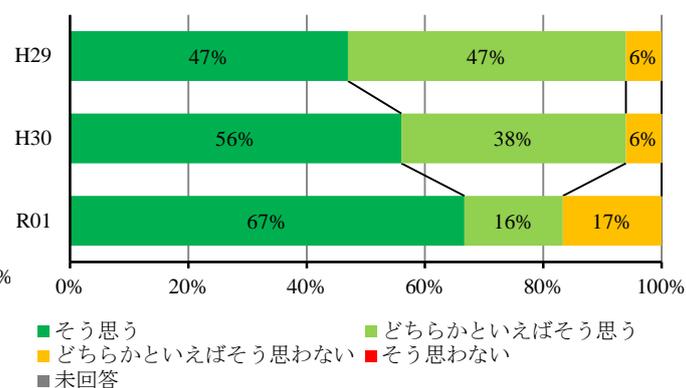
(7) 授業設計ワークショップ全体について

「d. 事前課題に積極的に取り組みことができた」で、「どちらかといえばそう思わない」と回答した参加者が、約3割と受講前の事前課題に対し少し消極的であったが、「a. ワークショップは全体的に満足できるものだった」「e. 今後も、ワークショップを継続していくべきだと思う」で、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した参加者が、100%に達していることから参加者にとってワークショップは満足できるものだったことが窺える。

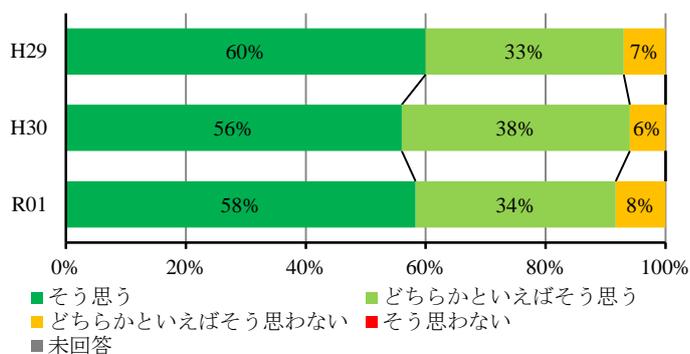
a. ワークショップは全体的に満足できるものだった



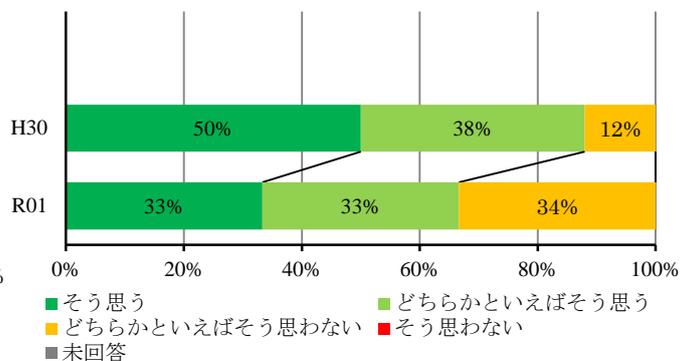
b. ワークショップは期待を上回る内容だった



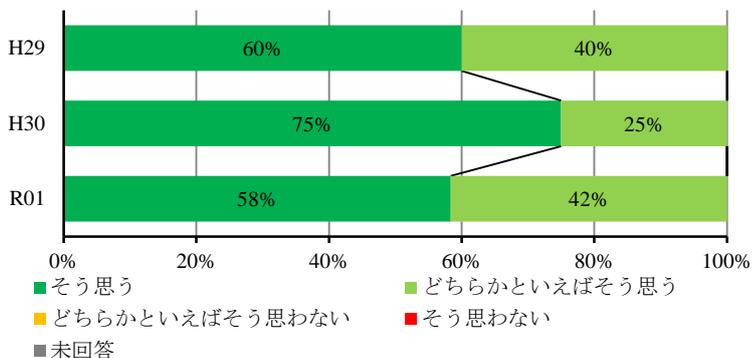
c. ワークショップの目標を達成するよう努力した



d. 事前課題に積極的に取り組むことができた



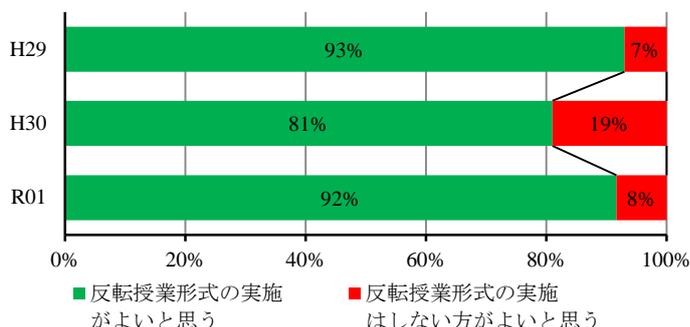
e. 今後もワークショップを続けていくべきだと思う



(8) 反転授業形式での実施について

「a. 反転授業形式での実施について」で、「反転授業形式で実施した方がよいと思う」と回答した参加者が、92%であったことから、反転授業形式は、参加者に好評だったことが窺える。選択した理由として、時間短縮により業務効率化を図ることができる理由が多かった。参加者自身が反転授業形式を体験したことで時間的余裕が生まれることが実感でき、ワークショップや授業への集中力が上がることも自ら体験できていることから、今後反転授業形式の導入を前向きに捉えていると窺える。今後の反転授業形式に向けた取り組み等バックアップしていきたい。

a. 反転授業形式での実施について



|  |
|--|
| 上記のように選択した理由をお書き下さい。                       |
| 参加者は教育以外にもそれぞれが異なるdutyを持っているから。            |
| 対面のワークショップの時間短縮につながるので、もっと講義部分を事前学習化してほしい。 |
| 都合の良い時間に視聴できる                              |
| 時間が短いほうが集中できる。                             |
| 一度とり入れたいと思う                                |
| 自分で経験して、逆に真剣に見ていなかったと気づかされた。               |
| 当日のレクチャーの短縮                                |
| 知識以上に学生との時間をもてる為                           |
| 時間短縮                                       |
| 全体の時間短縮になるならそちらの方が良い                       |
| 実際に反転授業を体験できるから                            |
| 事前授業のタイミングによって効果は変わると思う                    |

(9) 令和元年度「授業設計ワークショップ」自由記述について

「現在のあなたにとってレベルアップが必要なスキル・知識は何ですか」について、「学生を魅了する話術、説明の仕方、表現力」など、参加者が、授業を進める上で、プレゼンテーションスキルが必要だと感じていることが窺える。また、「授業設計ワークショップに参加して良かったと思われる点を、具体的にお書きください」については、他の先生方の模擬授業を拝見することで気づきや手法等得るものが多かったという意見が多かった。「研修をよりよいものにするために改善す

べき点があれば、具体的にお書きください」について、昨年同様に「参考となる良い授業の例のビデオの導入」など、来年度に向けてプログラムに参考となる良い授業例が提示できるよう検討していきたい。また、ワークショップ内での小クイズ・小テスト等を取り入れた上で終了時刻の前倒しも検討したい。

|                                  |
|----------------------------------|
| 現在のあなたにとってレベルアップが必要なスキル・知識は何ですか。 |
| 経験                               |
| アクティブ・ラーニングを効果的に盛り込む能力           |
| 授業に集中させるための仕掛け。                  |
| 授業計画の立てかた                        |
| 学生のやる気（聴く気）を起こさせるようなスキル。         |
| 話し方。                             |
| 話す際のメリハリ                         |
| アクティブラーニングの取り入れ方                 |
| 授業の構成力                           |
| 効果の確認、アイスブレイク。                   |

|  |
|--|
| 「授業設計ワークショップ」に参加して良かったと思われる点を、具体的にお書き下さい。    |
| 授業設計について考えるキッカケになった。                         |
| 他の先生方の授業を拝見できて参考になった                         |
| 他の先生の講義から得るものが多くありましたし、WSの内容も有意義で大変勉強になりました。 |
| 様々な手法を学ぶことができた。                              |
| シラバス、授業計画の作成を学べた。授業内容の修正に役に立つ                |
| 親切でした。                                       |
| スタッフの方々の熱意準備の良さなどが伝わりました。                    |
| シラバスの書き方について対応づけてきた。                         |
| 反転授業のメリット・デメリット、具体的な手法を学べた。                  |
| 自分で気づかない点に気づけてよかった。（模擬講義）                    |
| 自分に必要な授業改善策が見つかった。                           |
| 授業の改善に役立つと思う。                                |

|   |
|---|
| 研修をよりよいものにするために改善すべき点(ビデオ教材も含む)があれば、具体的にお書き下さい。 |
| 優れた授業の例を見ることが出来れば役に立つ、実例のビデオ？                   |
| 反転教材のビデオ（2本目の評価方法）は音が全く聞こえないので、ぜひ、作り直しをおねがいします。 |
| 締め切りは、もうすこし手前に設定してほしい                           |
| 1日目は17時までで終わって欲しい                               |
| ビデオの時間は短い方がよい                                   |
| 小クイズ、小テストの講義途中での導入                              |

|   |
|---|
| その他、お気づきの点があればご記入ください。                      |
| 受講のタイミングに自由度があればなお良い。昇任したては授業スケジュールが未定の場合も。 |
| ありがとうございました。                                |
| 2日間お世話になり、ありがとうございました                       |



第32回授業デザインワークショップ事後アンケート結果

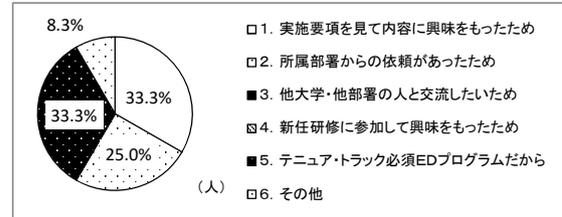
実施日 : 令和元年6月29日(土)~30日(日)  
 実施会場 : いまばり湯ノ浦ハイイツ(宿泊研修)  
 参加者数 : 15名  
 アンケート回答者数: 12名(回収率80.0%)

所属先 : 4年制大学 14名 設置形態別: 国立 6名  
 高等専門学校 1名 公立 2名  
 私立 7名

【設問1】本ワークショップの参加の経緯についてお答え下さい

【1-1】ワークショップへの参加動機は何ですか<複数選択可>

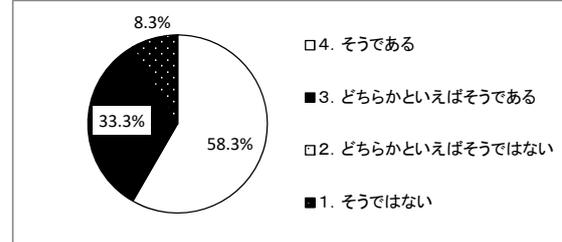
|                          | 回答数 | 割合    |
|--------------------------|-----|-------|
| 1. 実施要項を見て内容に興味をもったため    | 4   | 33.3% |
| 2. 所属部署からの依頼があったため       | 3   | 25.0% |
| 3. 他大学・他部署の人と交流したため      | 0   | 0.0%  |
| 4. 新任研修に参加して興味をもったため     | 0   | 0.0%  |
| 5. テンユア・トラック必須EDプログラムだから | 4   | 33.3% |
| 6. その他                   | 1   | 8.3%  |



1-1で「その他」と答えた方は、具体的にお答え下さい  
 新任教員プログラムの一環

【1-2】ワークショップの目的や内容について、ある程度知った上で参加した

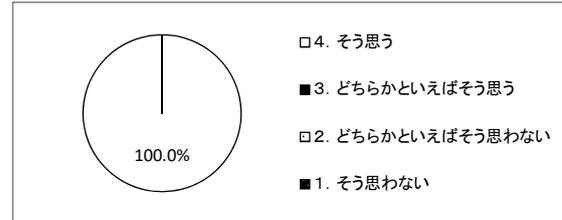
|                   | 回答数 | 割合     |
|-------------------|-----|--------|
| 4. そうである          | 7   | 58.3%  |
| 3. どちらかといえばそうである  | 4   | 33.3%  |
| 2. どちらかといえばそうではない | 0   | 0.0%   |
| 1. そうではない         | 1   | 8.3%   |
| 合計                | 12  | 100.0% |



【設問2】本ワークショップの内容についてお答え下さい

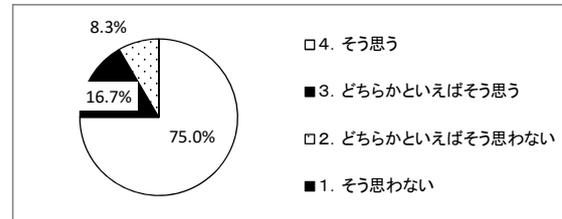
【2-1】ワークショップの目的は、明確に設定されていた

|                   | 回答数 | 割合     |
|-------------------|-----|--------|
| 4. そう思う           | 12  | 100.0% |
| 3. どちらかといえばそう思う   | 0   | 0.0%   |
| 2. どちらかといえばそう思わない | 0   | 0.0%   |
| 1. そう思わない         | 0   | 0.0%   |
| 合計                | 12  | 100.0% |



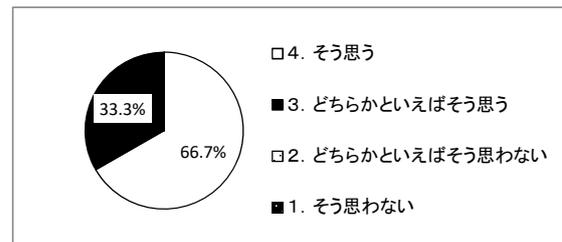
【2-2】ワークショップは、自分の業務(教育実践)に生かせる内容であった

|                   | 回答数 | 割合     |
|-------------------|-----|--------|
| 4. そう思う           | 9   | 75.0%  |
| 3. どちらかといえばそう思う   | 2   | 16.7%  |
| 2. どちらかといえばそう思わない | 1   | 8.3%   |
| 1. そう思わない         | 0   | 0.0%   |
| 合計                | 12  | 100.0% |



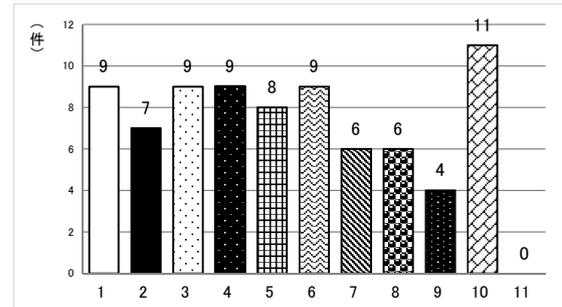
【2-3】ワークショップは、わかりやすい順序ですすめられていた

|                   | 回答数 | 割合     |
|-------------------|-----|--------|
| 4. そう思う           | 8   | 66.7%  |
| 3. どちらかといえばそう思う   | 4   | 33.3%  |
| 2. どちらかといえばそう思わない | 0   | 0.0%   |
| 1. そう思わない         | 0   | 0.0%   |
| 合計                | 12  | 100.0% |



【2-4】ワークショップでよかった点は以下のうちどれですか<複数選択可>

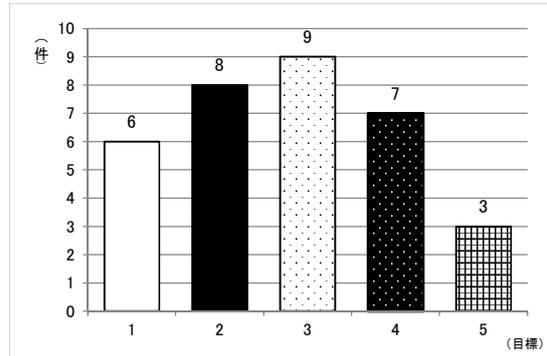
|                                  | 回答数 |
|----------------------------------|-----|
| 1. アイスブレイクの手法を知ることができた           | 9   |
| 2. 「何が学生の学びを促進するのか？」について考える機会を得た | 7   |
| 3. コース設計(1科目の授業計画)について理解が深まった    | 9   |
| 4. シラバスの書き方についての理解が深まった          | 9   |
| 5. 複数の授業方法について知ることができた           | 8   |
| 6. 成績評価について理解が深まった               | 9   |
| 7. クラス設計(90分の授業計画)について理解が深まった    | 6   |
| 8. 自らが開発した授業の良い点・改善点を知ることができた    | 6   |
| 9. ワークショップの手法を知ることができた           | 4   |
| 10. 他学部等の教員と知り合いになれた             | 11  |
| 11. その他                          | 0   |



【設問3】本ワークショップに参加しての成果についてお答え下さい

【3-1】ワークショップで設定した目標のうち、達成されたのはどれですか<複数選択可>

|  | 回答数 |
|--|-----|
| 1. 学生の学習を促すシラバスを書くことができるようになった               | 6   |
| 2. さまざまな授業方法の特徴を理解し、学習目標に適した授業方法を選択できるようになった | 8   |
| 3. 教育評価の原理と種類を理解し、学習目標に適した評価方法を選択できるようになった   | 9   |
| 4. アクティブラーニングを取り入れた90分の授業の計画を作成できるようになった     | 7   |
| 5. 作成した授業計画案にもとづいて模擬授業を実践できるようになった           | 3   |



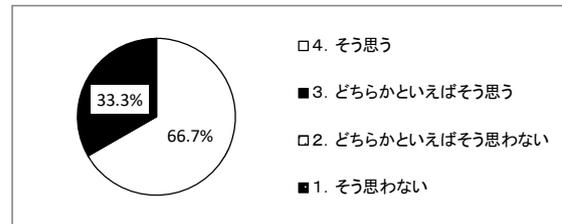
【3-2】ワークショップであなたが学んだ点、それに影響されて教育実践の場でやってみたい点などをお書き下さい(200字～400字程度)

→別添資料参照

【設問4】本ワークショップの研修環境についてお答え下さい

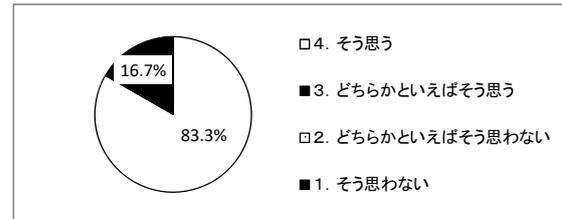
【4-1】講師の言動は学習意欲を高めた

|                   | 回答数 | 割合     |
|-------------------|-----|--------|
| 4. そう思う           | 8   | 66.7%  |
| 3. どちらかといえばそう思う   | 4   | 33.3%  |
| 2. どちらかといえばそう思わない | 0   | 0.0%   |
| 1. そう思わない         | 0   | 0.0%   |
| 合計                | 12  | 100.0% |



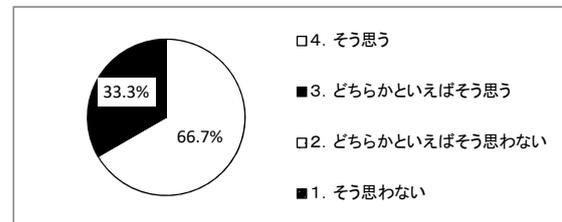
【4-2】事務局は手際よくワークショップを運営していた

|                   | 回答数 | 割合     |
|-------------------|-----|--------|
| 4. そう思う           | 10  | 83.3%  |
| 3. どちらかといえばそう思う   | 2   | 16.7%  |
| 2. どちらかといえばそう思わない | 0   | 0.0%   |
| 1. そう思わない         | 0   | 0.0%   |
| 合計                | 12  | 100.0% |



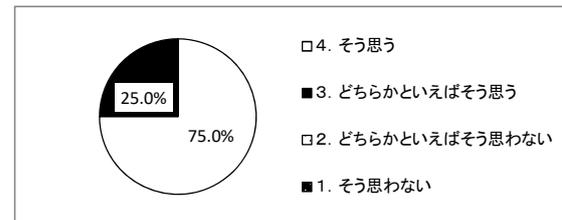
【4-3】ワークショップ会場は快適な環境であった

|                   | 回答数 | 割合     |
|-------------------|-----|--------|
| 4. そう思う           | 8   | 66.7%  |
| 3. どちらかといえばそう思う   | 4   | 33.3%  |
| 2. どちらかといえばそう思わない | 0   | 0.0%   |
| 1. そう思わない         | 0   | 0.0%   |
| 合計                | 12  | 100.0% |



【設問5】本ワークショップは全体を通して満足できるものであった

|                   | 回答数 | 割合     |
|-------------------|-----|--------|
| 4. そう思う           | 9   | 75.0%  |
| 3. どちらかといえばそう思う   | 3   | 25.0%  |
| 2. どちらかといえばそう思わない | 0   | 0.0%   |
| 1. そう思わない         | 0   | 0.0%   |
| 合計                | 12  | 100.0% |



【設問6】本ワークショップの改善点等、ご意見ご感想がありましたらご自由にお書き下さい

→別添資料参照

【3-2】今回のワークショップであなたが学んだ点、それに影響されて教育実践の場でやってみたい点などをお書き下さい

|    |   |
|----|---|
| 1  | 演習をグループで行う  |
| 2  | 模擬授業を通して、自分が細かい話に偏りがちな傾向があることに気付いた。学生からみて、その科目を学ぶと何の得があるのか、興味を沸かせるように注意深く授業設計する必要があると感じた。   |
| 3  | Think-pair(square)-share-writelによる学習  |
| 4  | 学生が興味を持つような導入を入れること   |
| 5  | 授業の話すスピード間の入れ方に気をつけようと思う  |
| 6  | 私自身がグループワークに苦手意識を持ってたけれど、うまくアイスブレイクができるとグループのメンバーと話しやすくなるのが分かったので実践してみたい。アクティブラーニングを授業にうまく取り入れたいと思う。  |
| 7  | 大人数に対する講義でも工夫次第で効果的なアクティブラーニングをお取り入れることができることがわかりました。   |
| 8  | これまでは感覚的に行ってきた90分の授業の時間配分・構成等について適切な授業計画方法を学ぶことができました。今後は、授業計画の明確化を行い、学生にとってより良い授業にしたいと考えています。  |
| 9  | 目的において、なぜ学ぶのか…という部分が重要だと思いました。これまでは、評価できる目標設定ばかりに目が向きがちでしたが、これからは授業のゴールを明確にすることを意識して、シラバスの作成を行いたいと思います。   |
| 10 | 2日間があっという間で自分自身でも驚くほど集中して講義やグループワークに参加できました。環境の異なる他大学他学科の先生方と一緒にグループワークをする中で、他者の意見を受け止めながら自分の意見を通す難しさを改めて実感しました。またグループワークであったとしても、グループの評価と個人の評価をどのようにするのが良いかについても、今回の研修では非常に勉強になりました。今後もこのような研修には積極的に参加していきたいと思っております。大変有意義な時間を過ごすことが出来ました。ありがとうございました。 |
| 11 | 専門分野の異なる複数の先生方と共同で授業を設計することで、新たな視点や刺激を得ることができました。複数教員担当の授業において、オムニバス形式で各自の回を決めたら干渉しないという授業が多いが、授業設計に全員が関わることで授業改善する機会を設けたいと思いました。また、毎時の目標の提示や、短いセッションに区切ることなど、基本的なことを常に念頭において授業に臨んでいきたいです。  |
| 12 | 授業設計やシラバスの書き方はもちろんなのですが、グループワークを通して、実際に学生がどう感じているのか？を体験する事ができ、学生の学びを促進させる技法や、興味を引き立たせる会話テクニックなどたくさん学べました。グループワークを取り入れることに難しさを感じていた部分がありましたが、今後は積極的に取り入れていこうと思います。導入のアイスブレイクもとても楽しかったので、実践していきます。  |

【設問6】本ワークショップの改善点等、ご意見ご感想がありましたらご自由にお書き下さい

|   |  |
|---|--|
| 1 | 2泊3日程度のプログラムがあれば受講したく存じます。   |
| 2 | 相部屋でほとんど寝られなかったので、一人部屋の方がよかったです。   |
| 3 | 女性の方が事務方にいれば困った時に相談しやすいのではないかと思います。ワークショップそのものは満足度が高く、模擬授業では直接フィードバックをいただけたので参加して良かったです。ありがとうございました。                       |
| 4 | 改善点などは特に思い当たりません。非常に充実したワークショップであり、とても勉強になりました。ありがとうございました。また、SPOD加盟校以外からの参加を快く受け入れてくださり、ありがとうございました。                      |
| 5 | 宿泊研修と聞いて不安もありましたが、きめ細やかな配慮に不安や緊張も和らぎました。プログラムの内容もわかりやすく、充実していました。参加させていただき、ありがとうございました。(楽しかったです)他の人にも宿泊研修をお勧めしたいと思います。     |
| 6 | 直接的には研修会の内容とは関係ませんが、できれば女性の部屋にはどこか1箇所でもいいのでお風呂付の部屋をご用意いただけると良かったかと思います。女性には月経がありますので、研修時とたまたま重なった場合、大浴場の使用が心理的に難しいかと思いました。 |
| 7 | 講師の先生方、事務担当者の方、どうもありがとうございました。   |
| 8 | 2日間、有難うございました。あっという間に終わってしまったので、やはり講師の先生方のテクニックは凄いなと改めて感じております。様々な大学の先生方との交流もあり、とても有意義な2日間でした。                             |

### 第33回授業デザインワークショップ事後アンケート結果

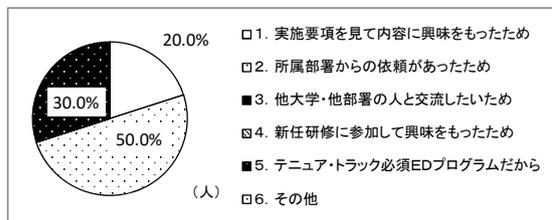
実施日 : 令和元年9月4日(水)～5日(木)  
 実施会場 : 愛媛大学城北キャンパス(通い型)  
 参加者数 : 16名  
 アンケート回答者数 : 10名(回収率62.5%)

所属先 : 4年制大学 11名 設置形態別: 国立 5名  
 短期大学 5名 公立 1名  
 私立 10名

【設問1】本ワークショップの参加の経緯についてお答え下さい

【1-1】ワークショップへの参加動機は何ですか(複数選択可)

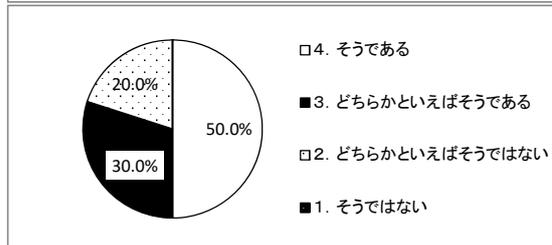
| 回答数                      | 割合      |
|--------------------------|---------|
| 1. 実施要項を見て内容に興味をもったため    | 2 20.0% |
| 2. 所属部署からの依頼があったため       | 5 50.0% |
| 3. 他大学・他部署の人と交流したため      | 0 0.0%  |
| 4. 新任研修に参加して興味をもったため     | 0 0.0%  |
| 5. テンユア・トラック必須EDプログラムだから | 3 30.0% |
| 6. その他                   | 0 0.0%  |



1-1で「その他」と答えた方は、具体的にお答え下さい  
 新任教員プログラムの一環

【1-2】ワークショップの目的や内容について、ある程度知った上で参加した

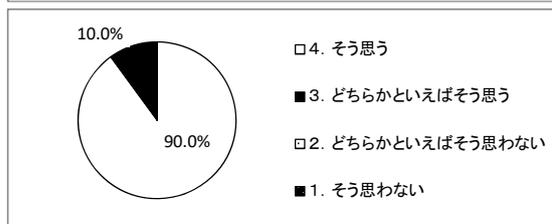
| 回答数               | 割合        |
|-------------------|-----------|
| 4. そうである          | 5 50.0%   |
| 3. どちらかといえばそうである  | 3 30.0%   |
| 2. どちらかといえばそうではない | 2 20.0%   |
| 1. そうではない         | 0 0.0%    |
| 合計                | 10 100.0% |



【設問2】本ワークショップの内容についてお答え下さい

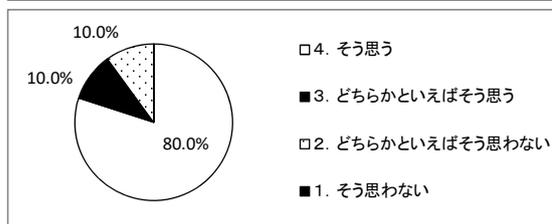
【2-1】ワークショップの目的は、明確に設定されていた

| 回答数               | 割合        |
|-------------------|-----------|
| 4. そう思う           | 9 90.0%   |
| 3. どちらかといえばそう思う   | 1 10.0%   |
| 2. どちらかといえばそう思わない | 0 0.0%    |
| 1. そう思わない         | 0 0.0%    |
| 合計                | 10 100.0% |



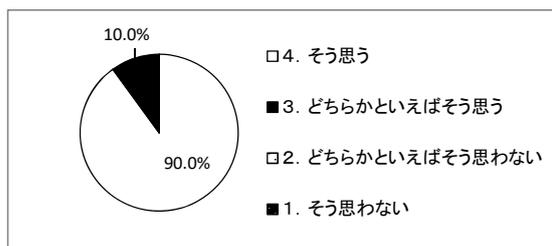
【2-2】ワークショップは、自分の業務(教育実践)に生かせる内容であった

| 回答数               | 割合        |
|-------------------|-----------|
| 4. そう思う           | 8 80.0%   |
| 3. どちらかといえばそう思う   | 1 10.0%   |
| 2. どちらかといえばそう思わない | 1 10.0%   |
| 1. そう思わない         | 0 0.0%    |
| 合計                | 10 100.0% |



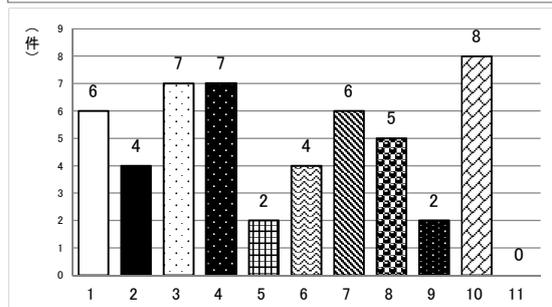
【2-3】ワークショップは、わかりやすい順序ですすめられていた

| 回答数               | 割合        |
|-------------------|-----------|
| 4. そう思う           | 9 90.0%   |
| 3. どちらかといえばそう思う   | 1 10.0%   |
| 2. どちらかといえばそう思わない | 0 0.0%    |
| 1. そう思わない         | 0 0.0%    |
| 合計                | 10 100.0% |



【2-4】ワークショップでよかった点は以下のうちどれですか(複数選択可)

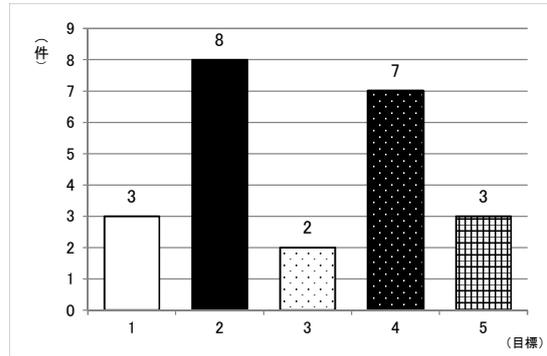
| 回答数                              |   |
|----------------------------------|---|
| 1. アイスブレイクの手法を知ることができた           | 6 |
| 2. 「何が学生の学びを促進するのか？」について考える機会を得た | 4 |
| 3. コース設計(1科目の授業計画)について理解が深まった    | 7 |
| 4. シラバスの書き方についての理解が深まった          | 7 |
| 5. 複数の授業方法について知ることができた           | 2 |
| 6. 成績評価について理解が深まった               | 4 |
| 7. クラス設計(90分の授業計画)について理解が深まった    | 6 |
| 8. 自らが開発した授業の良い点・改善点を知ることができた    | 5 |
| 9. ワークショップの手法を知ることができた           | 2 |
| 10. 他学部等の教員と知り合いになった             | 8 |
| 11. その他                          | 0 |



【設問3】本ワークショップに参加しての成果についてお答え下さい

【3-1】ワークショップで設定した目標のうち、達成されたのはどれですか<複数選択可>

|  | 回答数 |
|--|-----|
| 1. 学生の学習を促すシラバスを書くことができるようになった               | 3   |
| 2. さまざまな授業方法の特徴を理解し、学習目標に適した授業方法を選択できるようになった | 8   |
| 3. 教育評価の原理と種類を理解し、学習目標に適した評価方法を選択できるようになった   | 2   |
| 4. アクティブラーニングを取り入れた90分の授業の計画を作成できるようになった     | 7   |
| 5. 作成した授業計画案にもとづいて模擬授業を実践できるようになった           | 3   |



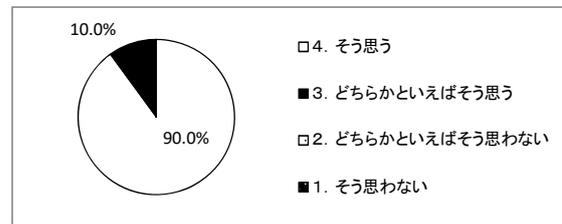
【3-2】ワークショップであなたが学んだ点、それに影響されて教育実践の場でやってみたい点などをお書き下さい(200字～400字程度)

一別添資料参照

【設問4】本ワークショップの研修環境についてお答え下さい

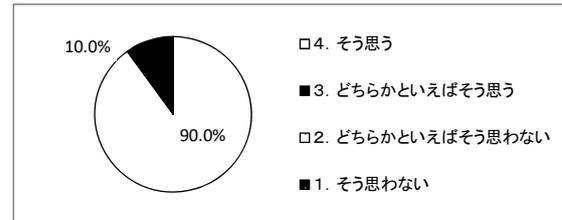
【4-1】講師の言動は学習意欲を高めた

|                   | 回答数 | 割合     |
|-------------------|-----|--------|
| 4. そう思う           | 9   | 90.0%  |
| 3. どちらかといえばそう思う   | 1   | 10.0%  |
| 2. どちらかといえばそう思わない | 0   | 0.0%   |
| 1. そう思わない         | 0   | 0.0%   |
| 合計                | 10  | 100.0% |



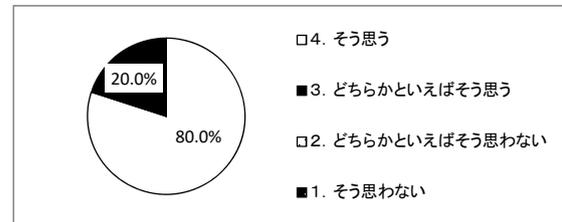
【4-2】事務局は手際よくワークショップを運営していた

|                   | 回答数 | 割合     |
|-------------------|-----|--------|
| 4. そう思う           | 9   | 90.0%  |
| 3. どちらかといえばそう思う   | 1   | 10.0%  |
| 2. どちらかといえばそう思わない | 0   | 0.0%   |
| 1. そう思わない         | 0   | 0.0%   |
| 合計                | 10  | 100.0% |



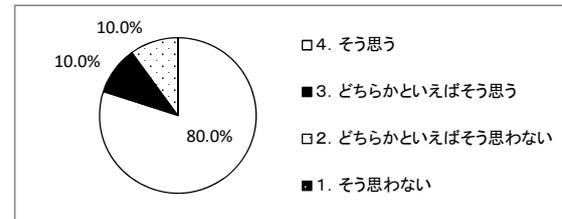
【4-3】ワークショップ会場は快適な環境であった

|                   | 回答数 | 割合     |
|-------------------|-----|--------|
| 4. そう思う           | 8   | 80.0%  |
| 3. どちらかといえばそう思う   | 2   | 20.0%  |
| 2. どちらかといえばそう思わない | 0   | 0.0%   |
| 1. そう思わない         | 0   | 0.0%   |
| 合計                | 10  | 100.0% |



【設問5】本ワークショップは全体を通して満足できるものであった

|                   | 回答数 | 割合     |
|-------------------|-----|--------|
| 4. そう思う           | 8   | 80.0%  |
| 3. どちらかといえばそう思う   | 1   | 10.0%  |
| 2. どちらかといえばそう思わない | 1   | 10.0%  |
| 1. そう思わない         | 0   | 0.0%   |
| 合計                | 10  | 100.0% |



【設問6】本ワークショップの改善点等、ご意見ご感想がありましたらご自由にお書き下さい

一別添資料参照

【3-2】今回のワークショップであなたが学んだ点、それに影響されて教育実践の場でやってみたい点などをお書き下さい

|    |  |
|----|--|
| 1  | 知らないという前提で講義を行う。知っていると思うと大間違い。   |
| 2  | アイスブレイクは、取り入れていきたいです。<br>楽しく学ぶ雰囲気作りから、取り入れていきたいです。   |
| 3  | シラバス作成で「構造化」「再構造化」を意識する。ワークの準備に「手順分析」を取り入れる。講義に「読解」を取り入れる。   |
| 4  | 今後工学部ではPBLが取り入れられるので、それに学生を巻き込む方法(アイスブレイキング、ジグソー法、相互評価)の概略を理解する事が出来たので、今後はこれを基本に講義と実習を展開してゆきたく思います。                  |
| 5  | 様々な授業方法、講義の組み立て方   |
| 6  | 1コマ(90分間)をどのような流れで進めるか、細かく設定して講義を行う。   |
| 7  | 個人個人が役割を与えられて、考える時間を持つことができるため、「発問」を含めて一部の授業に取り入れたいと考えています。  |
| 8  | 授業目標、目的を明確にする  |
| 9  | 板書の書き方、学生とのコミュニケーション   |
| 10 | 今回のワークショップでは、シラバスの書き方や様々な授業方法などを学ばせていただいたが、とりわけ、グループワークの面白さを体感させてもらったことが大きかった。これは、学びの深化にも繋がるワークだと思うので、今後積極的に実践してみたい。 |

【設問6】本ワークショップの改善点等、ご意見ご感想がありましたらご自由にお書き下さい

|   |  |
|---|--|
| 1 | スケジュールがややタイトであり、講義内容等をもう少し絞り込んでもよいと感じた。また、そもそも詳細なシラバスを作成する必要性がなぜ生じたのか等、本ワークショップの立ち上がりと運営の背景に関するお話を伺えると尚良かった。普段知り合うことのない、異分野の研究者の方々と親くなる貴重な機会を提供していただいたことは、本当に有り難かった。   |
| 2 | ノートパソコンを使い、2~3人のグループで、例えば人口推計するといったPCを使用するグループワークの手法を学びたいと思いますが、そういうのは入らないでしょうか。<br>講師陣の緻密な準備と、参加者との交流でこれまで知りえなかった知識等に触れられ、とても充実した2日間でした。ありがとうございました。  |
| 3 | 通い型にしてよかったと思います  |
| 4 | 中間発表の内容をふまえて質疑応答で質問をした際、発表者のひとりが感情的に大人気ない態度を取ったため、非常に不快に感じた。参加者に講義者として不適切な態度が見られた場合には、黙認せずに主催者側できちんとその状況に向き合って対応していただきたいです(担当の方から何らコメントがなかったため、この場にてフィードバックさせていただきます)。その点以外は大変有意義な時間でした。ご指導とアレンジメントをありがとうございました。 |
| 5 | 授業を受け持つ経験の浅い先生は、ぜひ参加した方が良いと感じました。<br>シラバスの書き方や、90分授業構成の構築など、非常に有用で実践的な内容が組まれていたので、今後の授業にもすぐに活かせる内容だったと思います。<br>他大学の先生方と共同で作業を行う機会がないので、非常に貴重な経験ができ、満足度の高い内容でした。今回、運営に携わった先生方、職員の方々には心より御礼申し上げます。                 |
| 6 | 自分が担当する可能性のある授業のシラバスや授業計画案を作成し、意見やコメントをもらえるとより有意義だった。  |
| 7 | お世話になりました。回答が遅れたこと、深くお詫び申し上げます。  |
| 8 | 特にありません。ありがとうございました。   |

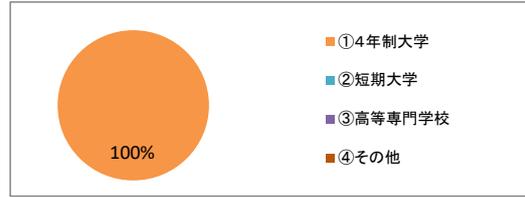
研修名 : 学生の学びを支援するための授業準備ワークショップ(新任教員FDワークショップ)

実施日 : 令和元年9月3日(火) 9:00~17:00  
令和元年9月4日(水) 9:00~17:00

実施会場 : 高知大学朝倉キャンパス 共通教育棟3号館1階310教室  
参加者数 : 8名(修了証書授与数7名)  
アンケート回答者数 : 8名

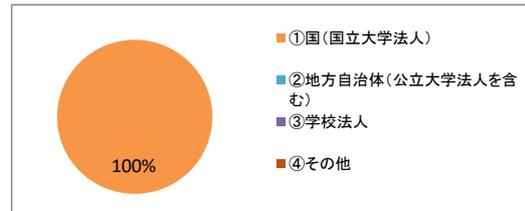
1-(1) 所属先

|         | 度数 | 割合    |
|---------|----|-------|
| ①4年制大学  | 8  | 100.0 |
| ②短期大学   | 0  | 0.0   |
| ③高等専門学校 | 0  | 0.0   |
| ④その他    | 0  | 0.0   |
|         | 8  | 100.0 |



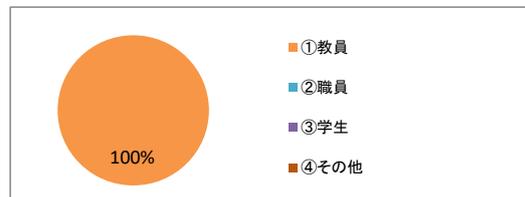
1-(2) 所属先の設置者

|                   | 度数 | 割合    |
|-------------------|----|-------|
| ①国(国立大学法人)        | 8  | 100.0 |
| ②地方自治体(公立大学法人を含む) | 0  | 0.0   |
| ③学校法人             | 0  | 0.0   |
| ④その他              | 0  | 0.0   |
|                   | 8  | 100.0 |



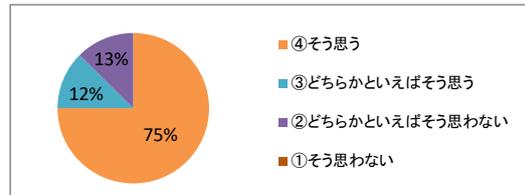
1-(3) 職種

|      | 度数 | 割合    |
|------|----|-------|
| ①教員  | 8  | 100.0 |
| ②職員  | 0  | 0.0   |
| ③学生  | 0  | 0.0   |
| ④その他 | 0  | 0.0   |
|      | 8  | 100.0 |



2-1 研修目的や内容についてある程度知ったうえで参加した

|                 | 度数 | 割合    |
|-----------------|----|-------|
| ④そう思う           | 6  | 75.0  |
| ③どちらかといえばそう思う   | 1  | 12.5  |
| ②どちらかといえばそう思わない | 1  | 12.5  |
| ①そう思わない         | 0  | 0.0   |
|                 | 8  | 100.0 |



3-1 研修の目的は明確に設定されていた

|                 | 度数 | 割合    |
|-----------------|----|-------|
| ④そう思う           | 7  | 87.5  |
| ③どちらかといえばそう思う   | 1  | 12.5  |
| ②どちらかといえばそう思わない | 0  | 0.0   |
| ①そう思わない         | 0  | 0.0   |
|                 | 8  | 100.0 |



3-2 研修は自分の業務(教育実践)に生かせる内容だった

|                 | 度数 | 割合    |
|-----------------|----|-------|
| ④そう思う           | 7  | 87.5  |
| ③どちらかといえばそう思う   | 1  | 12.5  |
| ②どちらかといえばそう思わない | 0  | 0.0   |
| ①そう思わない         | 0  | 0.0   |
|                 | 8  | 100.0 |



3-3 研修は分かりやすい順序で進められた

|                 | 度数 | 割合    |
|-----------------|----|-------|
| ④そう思う           | 7  | 87.5  |
| ③どちらかといえばそう思う   | 1  | 12.5  |
| ②どちらかといえばそう思わない | 0  | 0.0   |
| ①そう思わない         | 0  | 0.0   |
|                 | 8  | 100.0 |



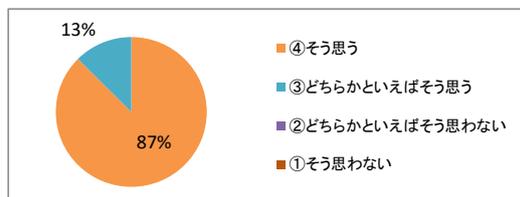
3-4 研修会場は快適な環境だった

|                 | 度数 | 割合    |
|-----------------|----|-------|
| ④そう思う           | 8  | 100.0 |
| ③どちらかといえばそう思う   | 0  | 0.0   |
| ②どちらかといえばそう思わない | 0  | 0.0   |
| ①そう思わない         | 0  | 0.0   |
|                 | 8  | 100.0 |



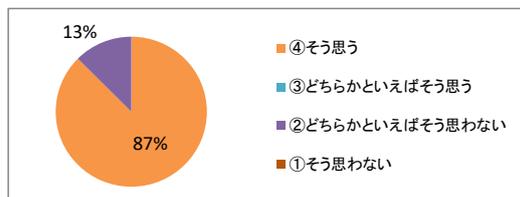
4-1 講師の言動は学習意欲を高めた

|                 | 度数 | 割合   |
|-----------------|----|------|
| ④そう思う           | 7  | 87.5 |
| ③どちらかといえばそう思う   | 1  | 12.5 |
| ②どちらかといえばそう思わない | 0  | 0.0  |
| ①そう思わない         | 0  | 0.0  |
|                 | 8  | 100  |



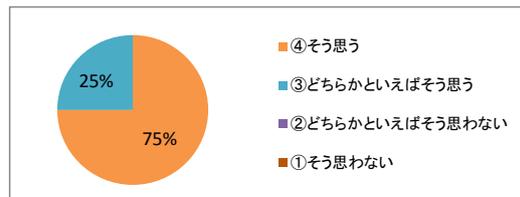
4-2 事務局は手際よく運営していた

|                 | 度数 | 割合   |
|-----------------|----|------|
| ④そう思う           | 7  | 87.5 |
| ③どちらかといえばそう思う   | 0  | 0.0  |
| ②どちらかといえばそう思わない | 1  | 12.5 |
| ①そう思わない         | 0  | 0.0  |
|                 | 8  | 100  |



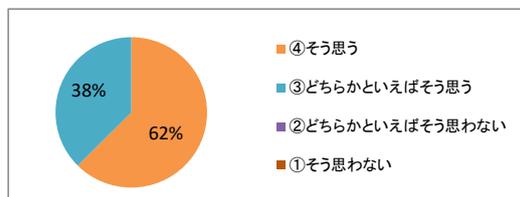
5-1 自分に必要な知識やスキルを身につけることができた

|                 | 度数 | 割合   |
|-----------------|----|------|
| ④そう思う           | 6  | 75.0 |
| ③どちらかといえばそう思う   | 2  | 25.0 |
| ②どちらかといえばそう思わない | 0  | 0.0  |
| ①そう思わない         | 0  | 0.0  |
|                 | 8  | 100  |



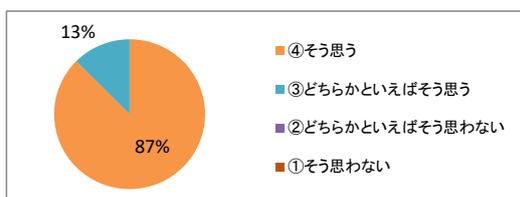
5-2 受講したことによって業務の取り組み方が改善されると思う

|                 | 度数 | 割合   |
|-----------------|----|------|
| ④そう思う           | 5  | 62.5 |
| ③どちらかといえばそう思う   | 3  | 37.5 |
| ②どちらかといえばそう思わない | 0  | 0.0  |
| ①そう思わない         | 0  | 0.0  |
|                 | 8  | 100  |



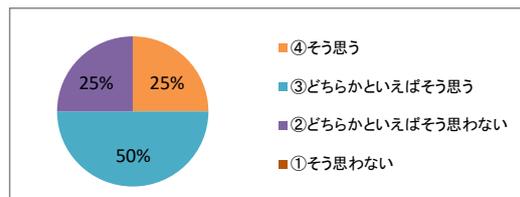
5-3 研修の内容は十分に理解できた

|                 | 度数 | 割合   |
|-----------------|----|------|
| ④そう思う           | 7  | 87.5 |
| ③どちらかといえばそう思う   | 1  | 12.5 |
| ②どちらかといえばそう思わない | 0  | 0.0  |
| ①そう思わない         | 0  | 0.0  |
|                 | 8  | 100  |



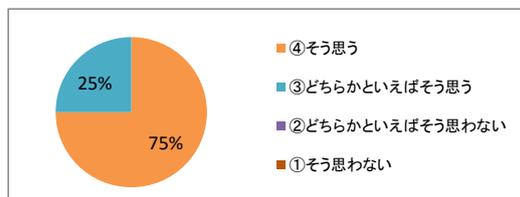
5-4 新たに人的つながりをつくることができた

|                 | 度数 | 割合   |
|-----------------|----|------|
| ④そう思う           | 2  | 25.0 |
| ③どちらかといえばそう思う   | 4  | 50.0 |
| ②どちらかといえばそう思わない | 2  | 25.0 |
| ①そう思わない         | 0  | 0.0  |
|                 | 8  | 100  |



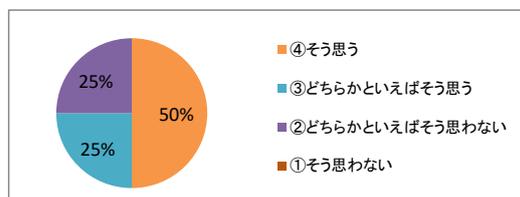
6-1 研修は全体的に満足できるものだった。

|                 | 度数 | 割合   |
|-----------------|----|------|
| ④そう思う           | 6  | 75.0 |
| ③どちらかといえばそう思う   | 2  | 25.0 |
| ②どちらかといえばそう思わない | 0  | 0.0  |
| ①そう思わない         | 0  | 0.0  |
|                 | 8  | 100  |



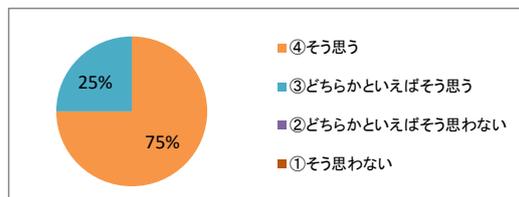
6-2 研修は期待を上回る内容だった

|                 | 度数 | 割合   |
|-----------------|----|------|
| ④そう思う           | 4  | 50.0 |
| ③どちらかといえばそう思う   | 2  | 25.0 |
| ②どちらかといえばそう思わない | 2  | 25.0 |
| ①そう思わない         | 0  | 0.0  |
|                 | 8  | 100  |



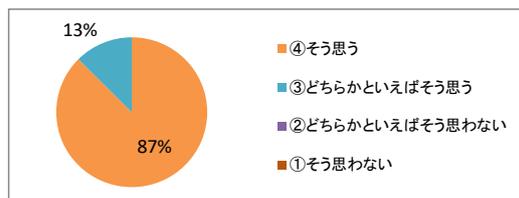
6-3 今後もこの研修を継続していくべきだと思う

|                 | 度数 | 割合   |
|-----------------|----|------|
| ④そう思う           | 6  | 75.0 |
| ③どちらかといえばそう思う   | 2  | 25.0 |
| ②どちらかといえばそう思わない | 0  | 0.0  |
| ①そう思わない         | 0  | 0.0  |
|                 | 8  | 100  |



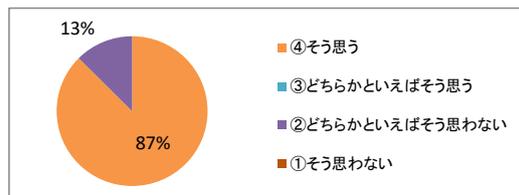
7-1 適切な授業の目的・目標設定ができるようになる

|                 | 度数 | 割合   |
|-----------------|----|------|
| ④そう思う           | 7  | 87.5 |
| ③どちらかといえばそう思う   | 1  | 12.5 |
| ②どちらかといえばそう思わない | 0  | 0.0  |
| ①そう思わない         | 0  | 0.0  |
|                 | 8  | 100  |



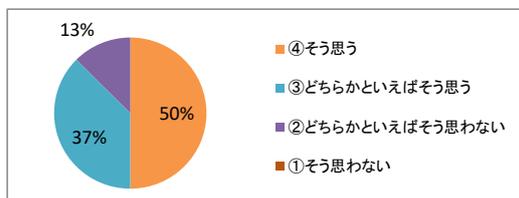
7-2 わかりやすいシラバスを書けるようになる

|                 | 度数 | 割合   |
|-----------------|----|------|
| ④そう思う           | 7  | 87.5 |
| ③どちらかといえばそう思う   | 0  | 0.0  |
| ②どちらかといえばそう思わない | 1  | 12.5 |
| ①そう思わない         | 0  | 0.0  |
|                 | 8  | 100  |



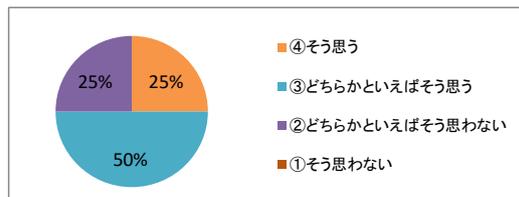
7-3 学習成果（ラーニング・アウトカムズ）を意識して授業デザインができるようになる

|                 | 度数 | 割合   |
|-----------------|----|------|
| ④そう思う           | 4  | 50.0 |
| ③どちらかといえばそう思う   | 3  | 37.5 |
| ②どちらかといえばそう思わない | 1  | 12.5 |
| ①そう思わない         | 0  | 0.0  |
|                 | 8  | 100  |



7-4 学生参加型のグループ作業を自らの授業で導入することができるようになる

|                 | 度数 | 割合   |
|-----------------|----|------|
| ④そう思う           | 2  | 25.0 |
| ③どちらかといえばそう思う   | 4  | 50.0 |
| ②どちらかといえばそう思わない | 2  | 25.0 |
| ①そう思わない         | 0  | 0.0  |
|                 | 8  | 100  |



【自由記述欄】

1-(4)本研修を知ったきっかけ・参加のきっかけは何ですか？

教員へのメール

事務局からの案内

メールやプリント

創造センターからの案内

メール

事務からの案内が来たため

学内メール

新任教職員研修

1-(5)現在のあなたにとってレベルアップが必要なスキル・知識は何ですか？(具体的に)

シラバス作成技術、アクティブラーニングの導入

アクティブ・ラーニングの進め方、具体的な手法

授業方式のバリエーション(アクティブラーニングに限らず)

グループワークの手法、スマホなどIoT機器による情報収集の実態

0

大学の授業とはどのようなものかを知る

教材をいかにグループワークにつなげていくか

効果的な授業のやり方

8.本研修であなたが学んだこと、研修ですぐに使ってみたいと感じたこと(アクションプラン)を、具体的にお書きください。

授業に映像を活用する(予習)。授業でグループワークを取り込む。

授業の導入で学生に関心を持ってもらえるように、問いかけなどを行うこと。

- ・個人とグループをつなぐコツ
- ・学習目標と成績評価を上手くつなげたシラバス
- ・学生に作業させる時の指示の出し方(具体性や正確さ)

クイズ方式やアイスブレイクの手法

授業構成(飽きさせない)や、他先生の話し方から、伝え方を学びました。

学生に何をしてもらいたい、何を学んでもらいたいということを明確にして伝えたいと思います。

シラバスの書き方が良く理解できたので来年度のシラバス作成に活かしたいと思います。

シラバスの改善

9.本研修を受講して良かったと思われる点や改善点、意見などを自由にお書きください。

グループワークを進める際に、学生がスムーズに作業に入れるようにするためにはどうすれば良いか考えるきっかけになった。

- ・作業(作業作り)のコストとベネフィットが気になりました。勉強になりました一方、普段集団でやらない作業を集団でやりましたので、とても疲弊しました。
- ・4月の必修研修と内容が少なからず重なるのが気になりました。両方必修で重なるのはどうでしょう。

分かりやすいシラバスの書き方(特に表現)

シラバス作成等、復習が出来たことと新たに学生との関わりに関して知れたことが良かったです。

いろいろな先生の教授方法などを実際に見ることができた。

シラバスの書き方、グループワークの仕方などこれまで学ぶ機会がなかったことを学ぶことができ、大変勉強になりました。

(良)他の教員と話ができたこと

(改)グループが分かれて、もうグループとの交流が少なかった。

## SPOD研修アンケート集計結果

研修名: 第10回「よりよい授業のためのFDワークショップ」

実施日: 令和元年9月12日(木)~13日(金)

実施会場: 休暇村讃岐五色台

参加者数: 16名

アンケート回答者数: 14名

設問1 本ワークショップへの参加の経緯についてお答え下さい。

1-1 ワークショップへの参加動機は何ですか

|                     |    |
|---------------------|----|
| ①新任研修に参加して興味をもったため  | 2  |
| ②実施要項を見て内容に興味をもったため | 2  |
| ③所属部署からの依頼があったため    | 9  |
| ④他部署の人と交流したいため      | 0  |
| ⑤その他                | 1  |
| 合計                  | 14 |

1-2 1-1で「その他」と答えた方は、具体的にお答え下さい。

授業をさらにより良くしたい

1-3 ワークショップの目的や内容について、ある程度知った上で参加した

|                 |    |
|-----------------|----|
| ①そうである          | 3  |
| ②どちらかといえばそうである  | 8  |
| ③どちらかといえばそうではない | 2  |
| ④そうではない         | 1  |
| 合計              | 14 |

設問2 本ワークショップの内容についてお答え下さい。

2-1 ワークショップの目的は、明確に設定されていた

|                 |    |
|-----------------|----|
| ①そう思う           | 12 |
| ②どちらかといえばそう思う   | 2  |
| ③どちらかといえばそう思わない | 0  |
| ④そう思わない         | 0  |
| 回答数             | 14 |

2-2 ワークショップは、自分の業務(教育実践)に生かせる内容であった

|                 |    |
|-----------------|----|
| ①そう思う           | 10 |
| ②どちらかといえばそう思う   | 2  |
| ③どちらかといえばそう思わない | 1  |
| ④そう思わない         | 1  |
| 回答数             | 14 |

2-3 ワークショップは、わかりやすい順序ですすめられていた

|                 |    |
|-----------------|----|
| ①そう思う           | 11 |
| ②どちらかといえばそう思う   | 3  |
| ③どちらかといえばそう思わない | 0  |
| ④そう思わない         | 0  |
| 回答数             | 14 |

2-4 ワークショップでよかった点は以下のうちどれですか&lt;複数選択可&gt;

|                              |    |
|------------------------------|----|
| ①学生の考える良い授業・悪い授業について考える機会を得た | 9  |
| ②シラバスの書き方について理解が深まった         | 11 |
| ③複数の授業方法について知ることができた         | 9  |
| ④成績評価について理解が深まった             | 6  |
| ⑤自らが開発した授業の良い点・改善点を知ることができた  | 5  |
| ⑥ワークショップの手法を知ることができた         | 5  |
| ⑦他学部等の教員と知り合いになった            | 14 |
| ⑧その他                         | 1  |

設問3 本ワークショップに参加しての成果についてお答え下さい。

3-1 ワークショップで設定した目標のうち、達成されたのはどれですか&lt;複数選択可&gt;

|                                       |    |
|---------------------------------------|----|
| ①適切な目的・目標が設定できるようになった                 | 9  |
| ②わかりやすいシラバスを書けるようになった                 | 10 |
| ③様々な授業方法を知り、目的・目標にあった方法を選択できるようになった   | 11 |
| ④様々な成績評価方法を知り、目的・目標にあった方法を選択できるようになった | 6  |
| ⑤学生参加型のグループ作業を、自ら授業で導入することができるようになった  | 5  |

設問4 本ワークショップの研修環境についてお答え下さい。

4-1 講師の言動は学習意欲を高めた

|                  |    |
|------------------|----|
| ① そう思う           | 13 |
| ② どちらかといえばそう思う   | 1  |
| ③ どちらかといえばそう思わない | 0  |
| ④ そう思わない         | 0  |
| 回答数              | 14 |

4-2 事務局は手際よくワークショップを運営していた

|                  |    |
|------------------|----|
| ① そう思う           | 13 |
| ② どちらかといえばそう思う   | 1  |
| ③ どちらかといえばそう思わない | 0  |
| ④ そう思わない         | 0  |
| 回答数              | 14 |

4-3 ワークショップ会場は快適な環境であった

|                  |    |
|------------------|----|
| ① そう思う           | 9  |
| ② どちらかといえばそう思う   | 3  |
| ③ どちらかといえばそう思わない | 2  |
| ④ そう思わない         | 0  |
| 回答数              | 14 |

設問5 本ワークショップは全体を通して満足できるものであった

|                  |    |
|------------------|----|
| ① そう思う           | 11 |
| ② どちらかといえばそう思う   | 2  |
| ③ どちらかといえばそう思わない | 1  |
| ④ そう思わない         | 0  |
| 回答数              | 14 |

【自由記述欄】

1-2 1-1で「その他」と答えた方は、具体的にお答え下さい。

新任教員研修プログラムの時間数を満たすのに必要であるため

2-5 2-4で「その他」と答えた方は、具体的にお答え下さい。

音楽や飲食物もあり、ワークショップを行う環境にも工夫がなされていた。

3-2 ワークショップであなたが学んだ点、それに影響されて教育実践の場でやってみたい点などをお書きください。

まず、アイスブレイクの仕方です。これに十分時間をとることで、その後のグループワークが格段にうまくいきました。大学1年生の授業を担当しているので、来年は今回習ったものだけでなく、様々なものを取り入れていきたいと思います。質問をし、答えさせるのも、1人で考える、少人数で共有するなどの技法を使ったり、ポストイットを使って、考えを一気に出してからまとめるなど、聞くだけでなく自分で考える手法を盛り込んでいきたいと思いました。とにかく、自分が楽しむことが大事だとも思いました。自分が楽しめない授業を学生が楽しめるわけがないわけです。授業をワクワクしながら、創っていきたいと思いました。

・シラバスの書き方が分からず見よう見まねで書いていたのですが、シラバスの作成や構成の仕方が学べました。目的や目標と評価との関係も知ることができて、来年度のシラバス作成に活かしていきたいと思います。  
・アクティブラーニングの技法をたくさん学ぶことができたので、後期に取り入れていきたいです  
・初回配布シラバスの配布について、以前は既存シラバスを配布して説明していましたが、さっそく後期の授業に向けて作成してみました。

学んだ点

シラバスの書き方を中心に、学ぶことができた。また、学生の立場となって、各種アクティブラーニングの手法の利点・欠点を実践を含めて体感することができた。

やってみたい点

経済学は数学を多用するので、学生が理解しているかどうか、よくわからないことが多かった。そこで、ワークショップ内であった、反転授業の形式を今度授業で取り入れてみようと思った。

・グループワークの方法について。今まで、課題を与えて自由に時間をとるようなイメージが強く、学生の能力や関心によっては難しいのではと思っていましたが、「個人で考える→班→全体」のように段階的にやる、番号を割り振って個人の役割を明確にする、など工夫次第でうまくいくことが分かった。

・シラバスの書き方について。目的と目標の差異、目標と評価の対応方法など、最初にマニュアルを見ただけでははっきりわからず困った経験があったので、具体的な書き方を学べたのはよかった。

ワークショップでは授業参加生徒数100人設定の課題を担当し、人数に合わせたワークショップの手法を学べた。単一手法ではなく、講師の方々による様々な手法の説明やメリット・デメリットの解説が非常にわかりやすく、自身が講義において取り組む際もマンネリ化を防ぐのに非常に役立つと感じた。また実戦形式のワークショップであったため、各グループにおける考えや講師の方の指摘を共有できる点が非常に良かった。今日、ハラスメント問題等が複雑化してきている中、ワークショップで各問題を考慮した授業の組み立て方が指摘されており(例えば恋愛での自己価値観を発表させる際)、非常に気を付けなければならない問題だと再認識させられた。私自身は実習しか担当していないため、本ワークショップにおけるテクニックの応用はなかなか難しいが、将来講義を担当する際の糧にしたい。

今、こんなにもアクティブラーニングが重要視され、求められていることは、私にとって新たな気づきであった。私の学部生時代(10年前)もこの手法を取り入れることはもちろんあったが、教育現場での理解や技術・手法がさらに発展していることを感じた。現代型の教育を受けてきた学生のアタマに合わせて行けということなのか。

研修で教えていただいたことは、どれもためになった。自己流でやっていたことも、このように論理的に体系立てて説明していただいたことで、今後自信をもって実践することができると思う。

実際にクリッカーを使った即座にできる集計やICTを使った手法は、学生が興味を持って授業に参加するために効果的だと思う。ただ、これらを利用するにあたり教員側が環境を整えたり、準備が要る。さらに、学生への内容配慮など考えるべき点は多く、明日からすぐに取り入れるというのは困難であろう。

学生の成績強化に関して、しっかりとしたクライテリアを設けて、行う重要性を学んだので実践していきたい。また、シラバスを作成する際の注意点など、今までは、なぜそのようにするのかはわからなかった点が、今回しっかり理解できた。

シラバスの書き方について、大変参考になりました。特に授業の目的(何のために、どのような方法を用いて理解させる)がはっきりし、到達目標が明確なほど、授業構想がしっかりと作ることができると感じました。ゴールである「付けたい力」に向かわせるための支援として、流れを考えることの大切さを再確認しました。クリッカー、ムードルという教材名も覚えたので、ぜひ活用したいと思います。

普段は実習指導がメインのため、講義方法について学ぶ・考える機会がなかったため、全てが新鮮であった。自分の大学生時代のことを思い返すと、講義に、ひいては教員に求められるものも変わってきているのではないかという気がする。学んだこととしては、シラバスの書き方から始まり、講義の組み立て方、講義の実際と全てにわたってである。研修終了日に学部に戻って実習オリエンテーションを行ったが、20分ごとに何か違う作業を組み込む、というのを意識して行った。学生も程よく気持ちを切り替えながら取り組むことができたのではないかなと思う。

グループワークの計画や実施法について身につけることができたと思う。現在私の担当している講義や実習では、環境問題についての内容を取り扱っている。来年度の授業計画を立てるときに、環境問題をテーマにしたグループ学習を取り入れていきたいと思う。

グループワークの構成人数は4人までが適切である。  
グループワークの際は、活動の指示を明確に指示する必要がある。  
グループ内の役割分担に平等性を持たせることが大切である。

授業の目的・目標・評価方法を関連のあるものにする必要があること、90分ずっと講義とならないよう工夫することを学びました。ワークショップの中で、付箋、色画用紙、マジック等が当たり前のよう使える環境にあり、気軽に使用することができたので、そのあたりの物品をそろえることや、授業計画に盛り込んで準備することも大事だとわかりました。専門科目担当で、実習前の演習や国家試験対策のために教えないといけない知識も多く、今回の一般教養向けをそのままとはいかないのですが、応用しながら取り入れていきたいです。

設問6 本ワークショップの改善点等、ご意見ご感想がありましたらご自由にお書き下さい。

|  |
|--|
| <p>シラバスを書き、1度フィードバックをいただいた後に、最終発表で再度提示しました。1度目のフィードバック後に書き直したものを添削していただかないと、実際によくなったのか、問題点はまだあるかなどの確認ができませんし、1度だけではうまくできませんので、シラバスの書き方の時間はもう少しあった方がいいと思いました。全体的に、短い時間に詰め込んでいる状態なので、頭が飽和します。もう少し時間がほしいと思いました。</p>   |
| <p>講師の先生がたをはじめ、スタッフの皆様には、様々なところで心遣いいただきましてありがとうございました。2日間大変でしたが楽しく学べました。先生方のように、楽しい授業ができるように、今後も努力していこうと思います。また、機会がありましたご教授いただけたらと思います。本当にありがとうございました。</p>   |
| <p>講師の方やワークショップの運営の方に、手当などをつけてほしい。多種多様な背景を持つ研究者を対象にするために、よく練られたワークショップであり、受講する方も、少し申し訳ないと思います。講義をデザインするためのワークショップであるので、DRI教育の一環などという名目で、学長から経費を出していただけるようにしてもらえればと思います。</p>  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・専門の違う人で議論して授業を考えるのも勉強になったが、その上で実際に自分の専門分野で行う全学共通科目の構想やシラバスに意見がもらえるような機会があればより実用的だったと思う</li> <li>・やはり全体的にスケジュールに余裕がなかった。2日目の午後まで伸びてもよいので、1日目にもう少し余裕がある方がよかった。</li> <li>・最後の模擬授業で授業計画を聴講者にも配ってもらったらより見やすかったかと思う。</li> </ul>  |
| <p>本ワークショップを通して疑問に感じたことを講師の方に質問・議論する時間がないことが残念でした。</p>   |
| <p>アクティブラーニングのメリットを学べたことは、大変良かった。この研修では、学生目線の「良い授業」というものをプロの先生方による確かな指摘を通して理解することができた。そこでは、事前の「授業計画の立て方」が非常に大切になってくるということがわかった。これにより授業の整合性が保たれる。今回の研修内容は、すべての教員が身につけるべき知識、技術だと思う。最後に、この度の研修を開催していただきました香川大学の香川大学教育・学生支援室修学支援グループの皆様にご大きく感謝いたします。貴重な機会を提供くださいましたこと、そして細やかなお心遣い、大変ありがとうございました。</p>   |
| <p>学部横断、大学横断でのワークショップは非常に貴重な経験で、今後の活動においても人脈を広げる良い機会なので、今後も継続して行ってください。講師の先生方、お疲れ様、ありがとうございました。</p>  |
| <p>非常に中身の濃い2日間でした。夜の会が1時間程だったので、他のグループの先生方との交流まではなかなか厳しかったです。しかし、他大学の先生方や他学部の先生方のお話は非常に面白いものでした。お世話になり、ありがとうございました。</p>  |
| <p>学部によると思うが、看護学科は実習直前の研修のため、非常に忙しい中での参加となった。読み替えできる講義もあったが、そこはぼつちり実習中のため、今回参加せざるを得ないという状況であった。もう少し手の空いている8月等への時期の変更について検討いただければ幸いです。</p>  |
| <p>1 宿泊をする必要はない。(大学内の教室で2日間の研修にする)<br/>理由① 宿泊を伴う1日半の研修より、宿泊をせずに2日間の研修とする方が、スケジュールに無理がなく、研修内容ももっと深いものにできる。(遠方から来られる方のみ宿泊していただく)<br/>② 荷物の準備や管理という手間がかかる。(実際の声)<br/>③ 身軽な人ばかりではなく、むしろ家庭の事情で宿泊が困難な人も多い。(実際の声)<br/>④ 出張費や施設使用費がかかる。<br/>⑤ ベジタリアンかどうかやアレルギーに関する事前調査をするべきである。(実際の声)</p> <p>2 懇親会を1日目にする必要はない。(全過程終了後にする。希望者のみにする。)<br/>理由① 翌日の集合が早いのに、遅い時間まで会が続く。<br/>② 今回2日目に体調不良の人が出たのは、前日の懇親会で遅くにお酒を飲み、翌日が早かったからであり、スケジュール的に無理がある。<br/>③ 宿泊しているのに、せっかくの入浴施設をゆっくり利用できなかった。(実際の声)</p> <p>3 教職経験が10年以上の人は、希望者のみにする。<br/>理由① シラバスの書き方、授業実践等については既に知っている。<br/>② 同じグループに経験の浅い人がいると、指導的になったり、また遠慮をしてしまい、協同学習がむずかしい。<br/>③ 経験者の受けたい研修内容を調査するべきである。</p> <p>4 シラバスの書き方に1日をかけており、翌日のミニ授業が中途半端になっている。そのため講師の評価と研修内容が一致していないところもあった。マイクロティーチング(研修でのミニ授業)の理論と実践に時間をとった方がよい。</p> |
| <p>・シラバスを作成するにあたり、目的・目標・評価方法については詳しく説明があったのでわかりやすかったのですが、概要については、あまり説明がなく、実際に作成する課題のシラバスには欄があったため、班のみんなでも悩みました。概要について、どのようなことを記入するのか、他のどこの欄と関連付けが必要なのか、説明があればと思います。<br/>・恋愛論がテーマの班だったので、参考となる本が古く、ジェンダーや性的マイノリティ関係の用語が古かったため、今なるべく理解が進むようにと使われている用語がわかる参考書籍に差し替えていただければと思います。使用されているものも、文学、歴史、社会学等様々な視点からたくさんの著者が原稿を寄せている本で、用語以外の部分は活用させていただきました。<br/>・事前の質問にも丁寧に回答していただきありがとうございました。他の方の質問と回答も読むことができ、「同じ悩みの分野がほかにもあるのか」とわかったりして、共有できてよかったです。今後の香川大学のFDを受講すれば答えになりそうという回答をいただいた質問があり、県外で都合がつかないため受講できず残念です。</p>   |

## SPOD研修アンケート集計結果

研修名：令和元年度 大学人・社会人としての基礎力養成プログラム研修（レベルⅠ）  
 実施日：令和元年11月7日（木）～8日（金）  
 実施会場：愛媛大学 法文学部本館8階大会議室  
 参加者数：24名  
 回答者数：24名

## 1. 参加者ご自身について

## (1) 所属先

|          | 回答数 | 割合    |
|----------|-----|-------|
| ① 4年制大学  | 24  | 100.0 |
| ② 短期大学   | 0   | 0.0   |
| ③ 高等専門学校 | 0   | 0.0   |
| ④ その他（ ） | 0   | 0.0   |
| 計        | 24  | 100.0 |

## (2) 所属先の設置者

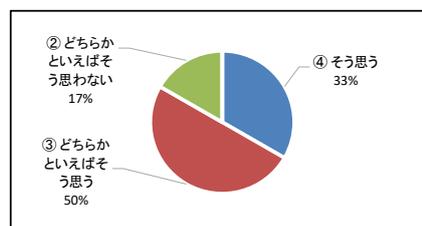
|                    | 回答数 | 割合    |
|--------------------|-----|-------|
| ① 国（国立大学法人）        | 14  | 58.3  |
| ② 地方自治体（公立大学法人を含む） | 1   | 4.2   |
| ③ 学校法人             | 9   | 37.5  |
| 計                  | 24  | 100.0 |

(3) 現在のあなたにとってレベルアップが必要なスキル・知識は何ですか。（具体的に）  
別紙記載

## 2. 研修全体について

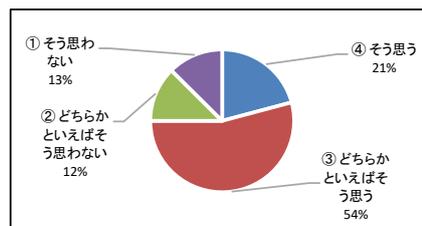
## (1) 研修目的や内容についてある程度知った上で参加した

|                  | 回答数 | 割合    |
|------------------|-----|-------|
| ④ そう思う           | 8   | 33.3  |
| ③ どちらかといえばそう思う   | 12  | 50.0  |
| ② どちらかといえばそう思わない | 4   | 16.7  |
| ① そう思わない         | 0   | 0.0   |
| 計                | 24  | 100.0 |



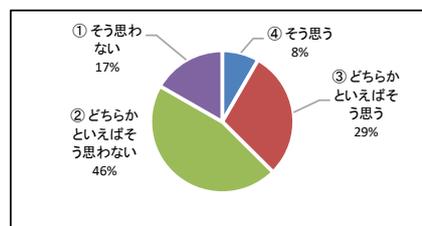
## (2) 自分自身で能力開発の必要性を感じて参加した

|                  | 回答数 | 割合    |
|------------------|-----|-------|
| ④ そう思う           | 5   | 20.8  |
| ③ どちらかといえばそう思う   | 13  | 54.2  |
| ② どちらかといえばそう思わない | 3   | 12.5  |
| ① そう思わない         | 3   | 12.5  |
| 計                | 24  | 100.0 |



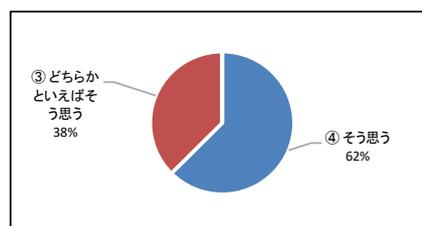
## (3) 研修内容をすぐに活用しなければならない状況で参加した

|                  | 回答数 | 割合    |
|------------------|-----|-------|
| ④ そう思う           | 2   | 8.3   |
| ③ どちらかといえばそう思う   | 7   | 29.2  |
| ② どちらかといえばそう思わない | 11  | 45.8  |
| ① そう思わない         | 4   | 16.7  |
| 計                | 24  | 100.0 |



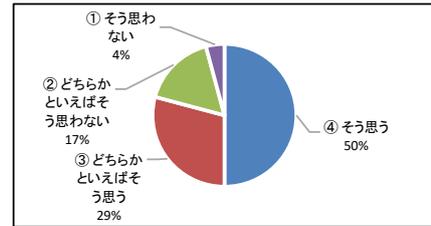
## (4) 上司はこの研修への参加を肯定的に捉えている

|                  | 回答数 | 割合    |
|------------------|-----|-------|
| ④ そう思う           | 15  | 62.5  |
| ③ どちらかといえばそう思う   | 9   | 37.5  |
| ② どちらかといえばそう思わない | 0   | 0.0   |
| ① そう思わない         | 0   | 0.0   |
| 計                | 24  | 100.0 |



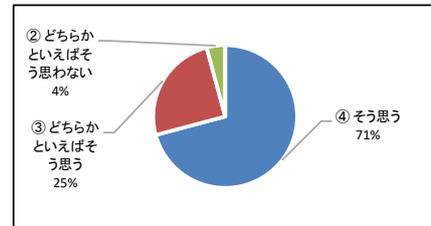
(5) 研修の実施時期は適当だった

|                  | 回答数 | 割合    |
|------------------|-----|-------|
| ④ そう思う           | 12  | 50.0  |
| ③ どちらかといえばそう思う   | 7   | 29.2  |
| ② どちらかといえばそう思わない | 4   | 16.7  |
| ① そう思わない         | 1   | 4.2   |
| 計                | 24  | 100.0 |



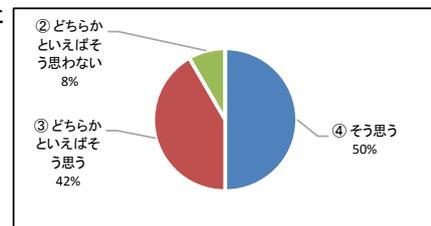
(6) 研修会場は快適な環境だった

|                  | 回答数 | 割合    |
|------------------|-----|-------|
| ④ そう思う           | 17  | 70.8  |
| ③ どちらかといえばそう思う   | 6   | 25.0  |
| ② どちらかといえばそう思わない | 1   | 4.2   |
| ① そう思わない         | 0   | 0.0   |
| 計                | 24  | 100.0 |



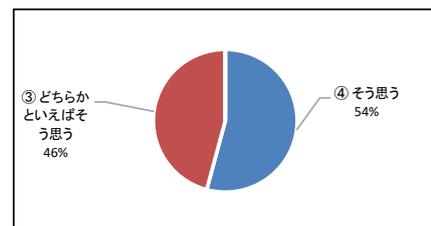
(7) 研修時間は研修目的を達成するために丁度良い長さだった

|                  | 回答数 | 割合    |
|------------------|-----|-------|
| ④ そう思う           | 12  | 50.0  |
| ③ どちらかといえばそう思う   | 10  | 41.7  |
| ② どちらかといえばそう思わない | 2   | 8.3   |
| ① そう思わない         | 0   | 0.0   |
| 計                | 24  | 100.0 |



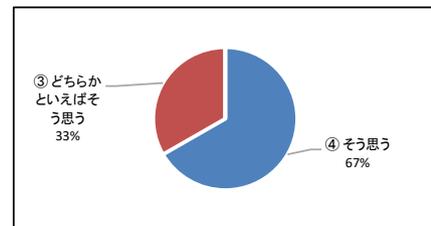
(8) 事務局は手際よく研修を運営していた

|                  | 回答数 | 割合    |
|------------------|-----|-------|
| ④ そう思う           | 13  | 54.2  |
| ③ どちらかといえばそう思う   | 11  | 45.8  |
| ② どちらかといえばそう思わない | 0   | 0.0   |
| ① そう思わない         | 0   | 0.0   |
| 計                | 24  | 100.0 |



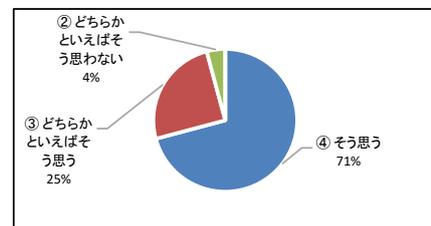
(9) 事務局の対応は丁寧だった

|                  | 回答数 | 割合    |
|------------------|-----|-------|
| ④ そう思う           | 16  | 66.7  |
| ③ どちらかといえばそう思う   | 8   | 33.3  |
| ② どちらかといえばそう思わない | 0   | 0.0   |
| ① そう思わない         | 0   | 0.0   |
| 計                | 24  | 100.0 |



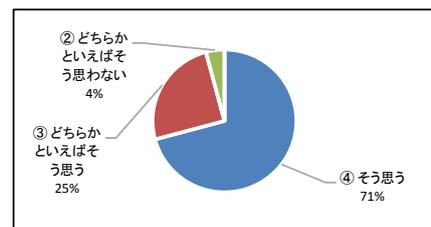
(10) 新たに人的なつながりをつくることができた

|                  | 回答数 | 割合    |
|------------------|-----|-------|
| ④ そう思う           | 17  | 70.8  |
| ③ どちらかといえばそう思う   | 6   | 25.0  |
| ② どちらかといえばそう思わない | 1   | 4.2   |
| ① そう思わない         | 0   | 0.0   |
| 計                | 24  | 100.0 |



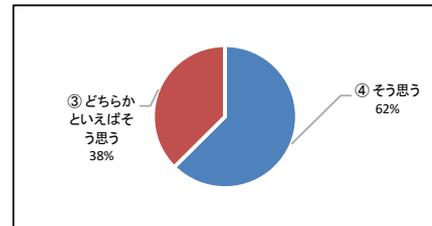
(11) 研修は全体的に満足できるものだった

|                  | 回答数 | 割合    |
|------------------|-----|-------|
| ④ そう思う           | 17  | 70.8  |
| ③ どちらかといえばそう思う   | 6   | 25.0  |
| ② どちらかといえばそう思わない | 1   | 4.2   |
| ① そう思わない         | 0   | 0.0   |
| 計                | 24  | 100.0 |



(12) 今後もこの研修を継続していくべきだと思う

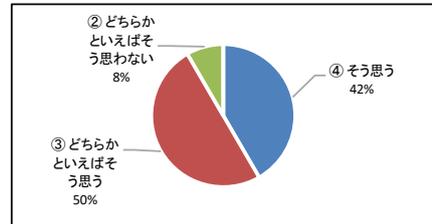
|                  | 回答数 | 割合    |
|------------------|-----|-------|
| ④ そう思う           | 15  | 62.5  |
| ③ どちらかといえばそう思う   | 9   | 37.5  |
| ② どちらかといえばそう思わない | 0   | 0.0   |
| ① そう思わない         | 0   | 0.0   |
| 計                | 24  | 100.0 |



3. 「キャリア形成入門」について

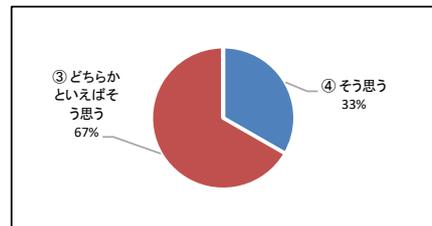
(1) 研修は自分の業務に活かせる内容だった

|                  | 回答数 | 割合    |
|------------------|-----|-------|
| ④ そう思う           | 10  | 41.7  |
| ③ どちらかといえばそう思う   | 12  | 50.0  |
| ② どちらかといえばそう思わない | 2   | 8.3   |
| ① そう思わない         | 0   | 0.0   |
| 計                | 24  | 100.0 |



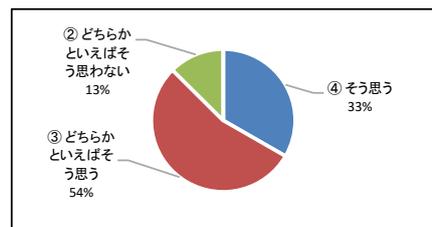
(2) 研修の内容は十分に理解できた

|                  | 回答数 | 割合    |
|------------------|-----|-------|
| ④ そう思う           | 8   | 33.3  |
| ③ どちらかといえばそう思う   | 16  | 66.7  |
| ② どちらかといえばそう思わない | 0   | 0.0   |
| ① そう思わない         | 0   | 0.0   |
| 計                | 24  | 100.0 |



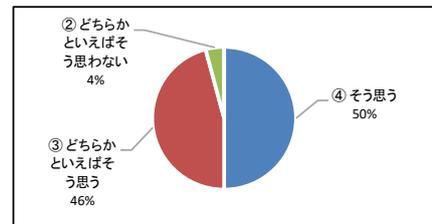
(3) 自分に必要な知識やスキルを身につけることができた

|                  | 回答数 | 割合    |
|------------------|-----|-------|
| ④ そう思う           | 8   | 33.3  |
| ③ どちらかといえばそう思う   | 13  | 54.2  |
| ② どちらかといえばそう思わない | 3   | 12.5  |
| ① そう思わない         | 0   | 0.0   |
| 計                | 24  | 100.0 |



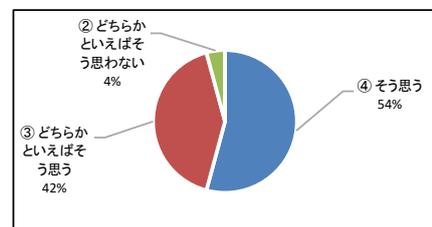
(4) 講師の用意した教材はわかりやすかった

|                  | 回答数 | 割合    |
|------------------|-----|-------|
| ④ そう思う           | 12  | 50.0  |
| ③ どちらかといえばそう思う   | 11  | 45.8  |
| ② どちらかといえばそう思わない | 1   | 4.2   |
| ① そう思わない         | 0   | 0.0   |
| 計                | 24  | 100.0 |



(5) 研修は満足出来るものだった

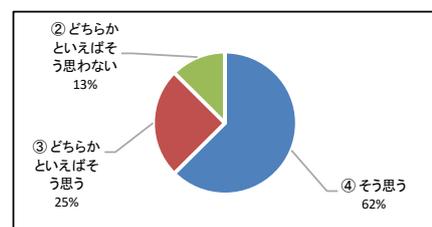
|                  | 回答数 | 割合    |
|------------------|-----|-------|
| ④ そう思う           | 13  | 54.2  |
| ③ どちらかといえばそう思う   | 10  | 41.7  |
| ② どちらかといえばそう思わない | 1   | 4.2   |
| ① そう思わない         | 0   | 0.0   |
| 計                | 24  | 100.0 |



4. 「リーダーシップ入門」について

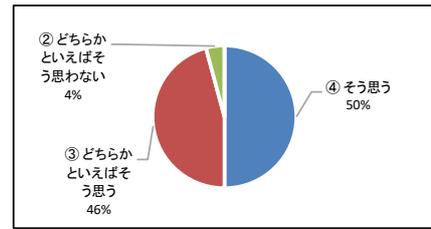
(1) 研修は自分の業務に活かせる内容だった

|                  | 回答数 | 割合    |
|------------------|-----|-------|
| ④ そう思う           | 15  | 62.5  |
| ③ どちらかといえばそう思う   | 6   | 25.0  |
| ② どちらかといえばそう思わない | 3   | 12.5  |
| ① そう思わない         | 0   | 0.0   |
| 計                | 24  | 100.0 |



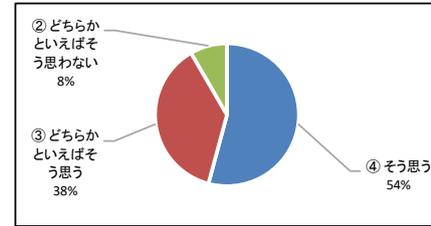
(2) 研修の内容は十分に理解できた

|                  | 回答数 | 割合    |
|------------------|-----|-------|
| ④ そう思う           | 12  | 50.0  |
| ③ どちらかといえばそう思う   | 11  | 45.8  |
| ② どちらかといえばそう思わない | 1   | 4.2   |
| ① そう思わない         | 0   | 0.0   |
| 計                | 24  | 100.0 |



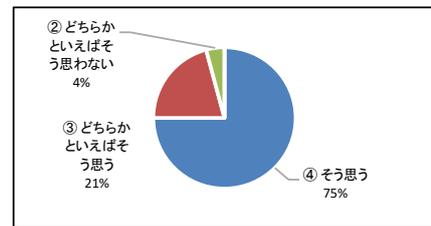
(3) 自分に必要な知識やスキルを身につけることができた

|                  | 回答数 | 割合    |
|------------------|-----|-------|
| ④ そう思う           | 13  | 54.2  |
| ③ どちらかといえばそう思う   | 9   | 37.5  |
| ② どちらかといえばそう思わない | 2   | 8.3   |
| ① そう思わない         | 0   | 0.0   |
| 計                | 24  | 100.0 |



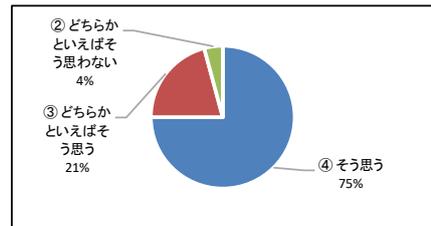
(4) 講師の用意した教材はわかりやすかった

|                  | 回答数 | 割合    |
|------------------|-----|-------|
| ④ そう思う           | 18  | 75.0  |
| ③ どちらかといえばそう思う   | 5   | 20.8  |
| ② どちらかといえばそう思わない | 1   | 4.2   |
| ① そう思わない         | 0   | 0.0   |
| 計                | 24  | 100.0 |



(5) 研修は満足出来るものだった

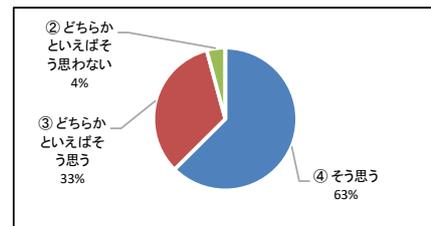
|                  | 回答数 | 割合    |
|------------------|-----|-------|
| ④ そう思う           | 18  | 75.0  |
| ③ どちらかといえばそう思う   | 5   | 20.8  |
| ② どちらかといえばそう思わない | 1   | 4.2   |
| ① そう思わない         | 0   | 0.0   |
| 計                | 24  | 100.0 |



5. 「クレーム対応」について

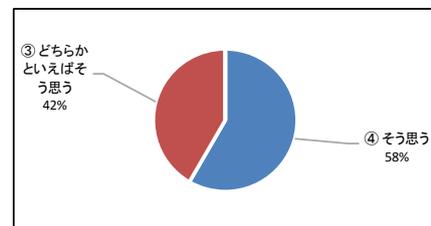
(1) 研修は自分の業務に活かせる内容だった

|                  | 回答数 | 割合    |
|------------------|-----|-------|
| ④ そう思う           | 15  | 62.5  |
| ③ どちらかといえばそう思う   | 8   | 33.3  |
| ② どちらかといえばそう思わない | 1   | 4.2   |
| ① そう思わない         | 0   | 0.0   |
| 計                | 24  | 100.0 |



(2) 研修の内容は十分に理解できた

|                  | 回答数 | 割合    |
|------------------|-----|-------|
| ④ そう思う           | 14  | 58.3  |
| ③ どちらかといえばそう思う   | 10  | 41.7  |
| ② どちらかといえばそう思わない | 0   | 0.0   |
| ① そう思わない         | 0   | 0.0   |
| 計                | 24  | 100.0 |



(3) 自分に必要な知識やスキルを身につけることができた

|                  | 回答数 | 割合    |
|------------------|-----|-------|
| ④ そう思う           | 12  | 50.0  |
| ③ どちらかといえばそう思う   | 10  | 41.7  |
| ② どちらかといえばそう思わない | 1   | 4.2   |
| ① そう思わない         | 1   | 4.2   |
| 計                | 24  | 100.0 |

